

WAS8.5(IBM i 7.3)導入手順

IBM i 環境にWebSphere Application Server 8.5 (以降WAS8.5)の導入稼働検証

Contents :	検証概要
	IBMi要件
	IM導入
	WAS8.5導入
	WAS8.5のPTF導入
	WAS8.5の構成
	WAS8.5の起動確認
	(補足)WAS構成削除
	(補足)WASアンインストール

Version :	2016/12/27	初版
	2017/4/14	印刷時の改ページ不具合修正
	2019/3/6	IM導入時の補足を追加

2016年12月27日 株式会社イグアス
テクニカル&クラウド事業部 テクニカル推進部

【検証概要】

●検証目的:

IBM i 環境にWebSphere Application Server 8.5 (以降WAS8.5)の導入稼働検証をする。

WAS V8.5のIBM i への導入概要

- ・WAS V8.xから導入方法が変更
 - IBM Installation Managerを使用してWASの導入、管理
 - ・事前にInstallation Manager V1.5 以上をIBM iに導入しておく必要があります
 - ・IBM i 版のInstallation Managerでは、GUIはサポートされていません
- ・導入方法は2通り
 - ローカル・インストール
 - ・IBM i サーバー上のInstallation Managerを使用して導入する方法
 - 5250 QSHELLから実行
 - リモート・インストール
 - ・Windows ワークステーション上のiRemoteInstallから導入する方法
 - (注意)フィックスの適用にiRemoteInstallは使えません

●検証環境:

- ▲PowerSystems
 - Power7モデル (8202-E4D)

●検証内容(シート名参照)

- ▲IBM i要件 IBM i にWAS8.5を導入 ##### 印刷時の改ページ不具合修正
- ▲IM導入 Instration Manager (IM)の導入を行う
- ▲WAS8.5導入 WebSphere Applicatin Server 8.5 (WAS8.5)の導入を行う
- ▲WAS8.5のPTF適用 ... WAS8.5のPTF適用作業を行う
- ▲WAS8.5の構成 WAS8.5のシンプルなアプリケーション構成を行う
- ▲WAS8.5の起動確認 ... WAS8.5の起動および、サンプルアプリケーションの稼働確認を行う
- ▲(補足)WAS構成削除 ... 構成された定義の削除手順
- ▲(補足)WASアンインストール ... アンインストールおよび、関連オブジェクトの削除手順

●問題と回避方法

WAS8.5の導入でマニュアルでは、5250画面から導入ですが正しく導入が出来ません。(現象的には、WASの構成画面が出ない状況となります)
回避方法としては、IBM Web Administrator for i (旧IBM i タスク画面)より、導入することで正しく構成することもできます。

以上、

【IBMi要件】

●WAS8.5導入の為のIBMi要件

参考情報 …… 但し、IBMi7.3の場合には、手順が異なるので手順書を作成しました。

https://www.ibm.com/developerworks/jp/websphere/library/was/was85fori_install/



IBM i 要件(1)

■ ハードウェア

– 最小サーバー要件

- WAS V8.5のひとつのプロファイルをアクティブにするために**最低限**必要なシステム資源
- CPU: 600CPW
- メモリー: 2GB
- ディスク:
 - 2~5GB
 - › DVDメディアや、Web (PAサイト) からの直接導入の場合2GB
 - › ローカル (ディスク上にイメージをダウンロード) からの導入の場合5GB
 - › リモート (PCのディスク上イメージをダウンロード)からの導入の場合PC上に4GB
 - › 導入オプションに要する必要ディスク量(目安)

導入オプション	概要	必要なディスク量
WebSphere Application Server	WebSphere Application Server ランタイム	910 MB
Application Server Samples	サンプル・アプリケーション	90 MB
Application Client	クライアント開発およびクライアント・ランタイム	230 MB
Web Server Plug-ins	Webサーバー・プラグイン	100 MB

– IBM Systems Workload Estimator (WLE) によるサイジングを推奨

- <http://www-947.ibm.com/systems/support/tools/estimator/index.html>

【IBMi要件】

IBMi要件の続き



IBM i 要件(2)

▪ 必須ソフトウェア

– IBM i 6.1 (5761-SS1 V6R1)、IBM i 7.1(5770-SS1 V7R1)、IBM i 7.2(5770-SS1 V7R2)

• ※ただし、IBM i 7.2はV8.5.5.2以降でサポート

– Java

• IBM Runtime Environment, Java Technology Edition 6.0.1 (J9 2.6)

– IBM J2SE 6.0 32-bit JVM (5761-JV1) (オプション 11)

– 以下の5761-JV1 PTFの適用

› SI42021

› SI42022

› SI42026

– 拡張基本サポート (5761-SS1 / 5770-SS1 オプション3)

– ホスト・サーバー (5761-SS1 / 5770-SS1 オプション12)

– QShell (5761-SS1 / 5770-SS1 オプション30)

– PASE (Portable Application Solutions Environment) (5761-SS1 / 5770-SS1 オプション33)

– デジタル証明書マネージャー (5761-SS1 / 5770-SS1 オプション34)

– 以下のPTF

• IBM i 6.1 (5761-SS1):

– •SI41986 : Support of IBM Technology for Java 6 2.6

• IBM i 7.1 (5770-SS1):

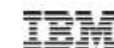
– •SI41988 : Support of IBM Technology for Java 6 2.6

デフォルトで、
サーバーは JDK
1.6 32bitベース
で作成されます

IBMi7.3の場合、8.5.5.9以降が前提

【IBMi要件】

IBMi要件の続き



IBM i 要件(3)

▪ オプションのソフトウェア

– Java

• IBM J2SE 6.0 64bit JVMを使用する場合

- IBM J2SE 6.0 64 bit JVM (5761-JV1) (オプション 12)
- 以下の5761-JV1 PTFの適用
 - › SI41985
 - › SI41998
 - › SI42024

デフォルトで、サーバーは JDK 1.6 32bit
ベースで作成されますが、オプションで
JDK1.7、64bitに変更することもできます



• IBM J2SE 7.0 32/64bit JVMを使用する場合 (IBM i 7.1、IBM i 7.2のみ)

- IBM SE 7 32 bit JVM(5761-JV1 オプション 14)
- IBM SE 7 64 bit JVM(5761-JV1 オプション 15)
- 以下のグループPTFの適用
 - › PTF SF99572 #7 以上

- IBM i 7.1でJ2SE 7.0を使用する場合、Entitled Software Support(ESS)からのダウンロードが必要となります

- › (参考) News of Java on IBM i : **December, 2011**
- › <https://www.ibm.com/developerworks/community/wikis/home?lang=ja#!/wiki/IBM%20i%20Technology%20Updates/page/News%20of%20Java%20on%20IBM%20i>

【IBMi要件】

IBMi要件の続き



IBM i 要件(4)

▪ (つづき)

– HTTPサーバー

- インストール作業、またEJB のみをデプロイする場合は不要
- サブレットと JSP ファイルを使用する場合には推奨
- 以下の HTTP サーバー製品をサポート
 - IBM HTTP Server (Apache で稼働) (5761-DG1 / 5770-DG1)
 - Lotus® Domino® 8 for System i® 8.0(5733-LD8)、versions 8.0.1 and 8.0.2
 - IBM Domino 8.5 for i (5733-L85)

– DB2 Query Manager and SQL Development Kit for iSeries® (5761-ST1 / 5770-ST1)

- データベース・アプリケーション開発時に有用


– (参考) WebSphere Application Server detailed system requirements Version 8.5

- <http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27023941>

IBMi7. 3の場合、IHSグループPTF(SF99722)は#2以降が前提



IBM i 累積PTFレベル

- WAS V8.5がテストされたのと同レベル以上の累積PTFパッケージが必要 

– WebSphere Application Server for IBM i のWebサイトで確認

- <http://www-03.ibm.com/systems/power/software/i/websphere/v85/ptf.html>

– 2015/9/15 時点でテストされた、各OSのPTFレベルは以下の通り

- IBM i 7.2: C5135720 および WAS 8.5.5.7 でテスト済み

Area	グループPTF番号	PTFレベル
Database	SF99702	#6
Java	SF99716	#6
IBM HTTP Server	SF99713	#7

- IBM i 7.1: C5142710 および WAS 8.5.5.7 でテスト済み

Area	グループPTF番号	PTFレベル
Database	SF99701	#35
Java	SF99572	#21
IBM HTTP Server	SF99368	#33

- IBM i 6.1: C5063610 および WAS 8.5.5.7でテスト済み

Area	グループPTF番号	PTFレベル
Database	SF99601	#33
Java	SF99	#32
IBM HTTP Server	SF99115	#44

WASを導入する為には、IM(Installation Manager)の導入が前提となり、IM導入後にWASの導入を行う。

【IBMi要件】

IBMi要件の続き



IBM i サーバーからの導入<準備>

A

- IBM i 側の準備
 - 導入のためのユーザー・プロファイル
 - QSECOFRもしくは、*ALLOBJ、*SECADM権限のあるユーザー・プロファイル
 - ジョブのCCSID、またはシステム値QCCSID
 - 日本語環境に導入する場合、導入ジョブや実行ジョブのCCSIDは5035または1399に設定
 - システム値QCCSIDが65535の場合、5035または1399に変更
 - 何らかの理由によりシステム値を変更したくない場合は、導入後にユーザープロファイルQEJB、QEJBSVR のCCSID を、5035または1399に変更してください
 - ホスト・サーバーの起動
 - STRHOSTSVR SERVER(*ALL)でホスト・サーバーを起動
 - TCP/IP ホスト名
 - CFGTCPコマンドのオプション12 を選択して、TCP/IPホスト・ドメイン情報が正しく構成されていることを確認
 - また、TCP/IPが開始されていること
- Windows ワークステーション側の準備
 - 上記IBM iに接続された5250 Telnetセッションが開始されていること
 - Installation Managerを、Webからダウンロードできるネットワーク環境

以上

【IM導入】

●Instration Manager(以降IM)の導入

①IMの最新版ダウンロードはこちら

<http://www-304.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27025142>

②MKDIRコマンドにてディレクトリー(/IM185)を作成



The screenshot shows a terminal window titled "F - 1:5250 ディスプレイ". The terminal content is as follows:

```
ディレクトリーの作成 (MKDIR)

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ディレクトリー          > '/IM185'

データの共通権限      > *RWX          名前  *INDIR, *RWX, *RW...
オブジェクトの共通権限 > *ALL          *INDIR, *NONE, *ALL...
      値の続きは+
オブジェクトの値の監査 > *SYSVAL      *SYSVAL, *NONE, *USRPRF...
OBJ のオプションをスキャン > *PARENT      *PARENT, *YES, *NO, *CHGONLY
名前変更とリンク解除の制限 > *NO          *NO, *YES

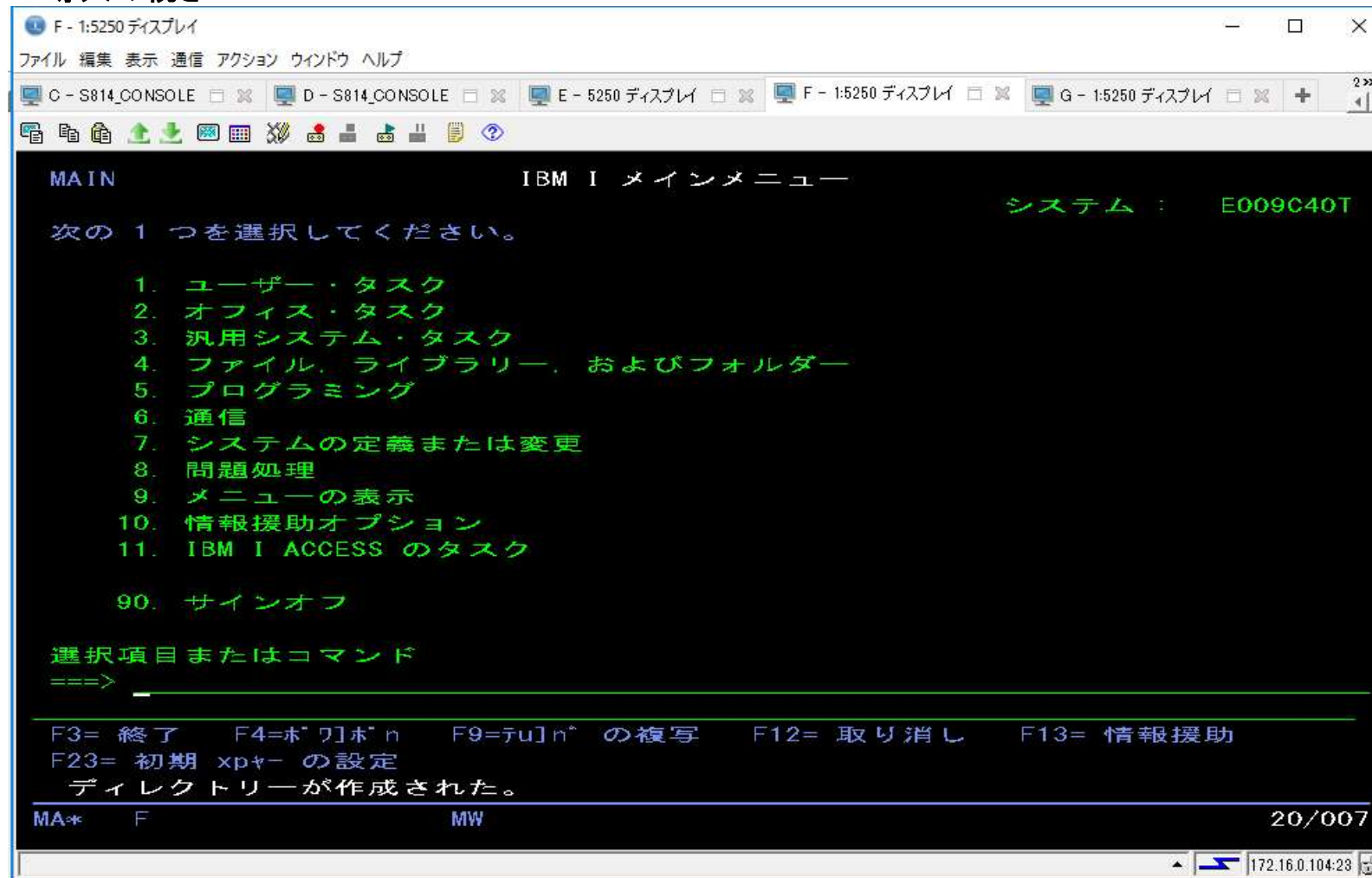
                                                                終了

F3= 終了      F4=ホ`ワホ`n      F5= 最新表示      F12= 取り消し
F13= この画面の使用法      F24= キーの続き

MA*  F                               MW                                05/037
```

【IM導入】

IM導入の続き



【IM導入】

IM導入の続き

③FTPにて作成したディレクトリー(IM185)に送信 …… ツールのFFFTPなどで転送する。

※転送後の確認 (WRKLNK '/IBM185/*')

```
オブジェクト・リンクの処理

ディレクトリー . . . : /IM185

オプションを入力して、実行キーを押してください。
 2= 編集   3= コピー   4= 除去   5= 表示   7= 名前の変更   8= 属性の表示
11= 現行ディレクトリーの変更 . . .

OPT   eホ`ニ`ウhn、M]h          jホ`          属性          テキスト
_     agent.installer.os >   STMF

                                                                終わり

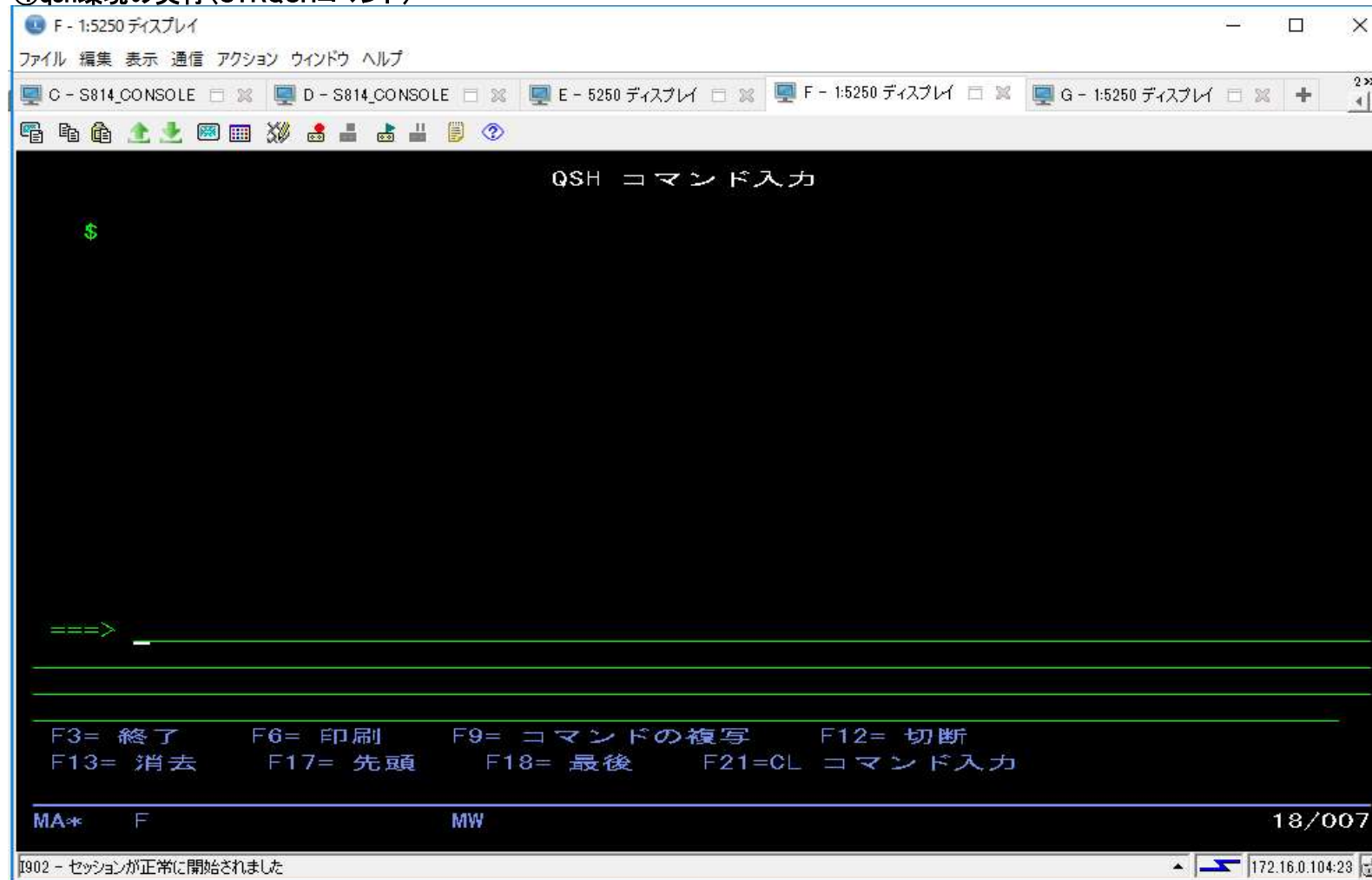
パラメーターまたはコマンド
===>
F3= 終了   F4= プロンプト   F5= 最新表示   F9= コマンドの複写   F12= 取り消し
F17= 位置指定   F22= 全フィールドの表示   F23=eホ`ニ] 続き

MA*   F                               MW                               10/002
1902 - セッションが正常に開始されました | 172.16.0.104:23
```

【IM導入】

IM導入の続き

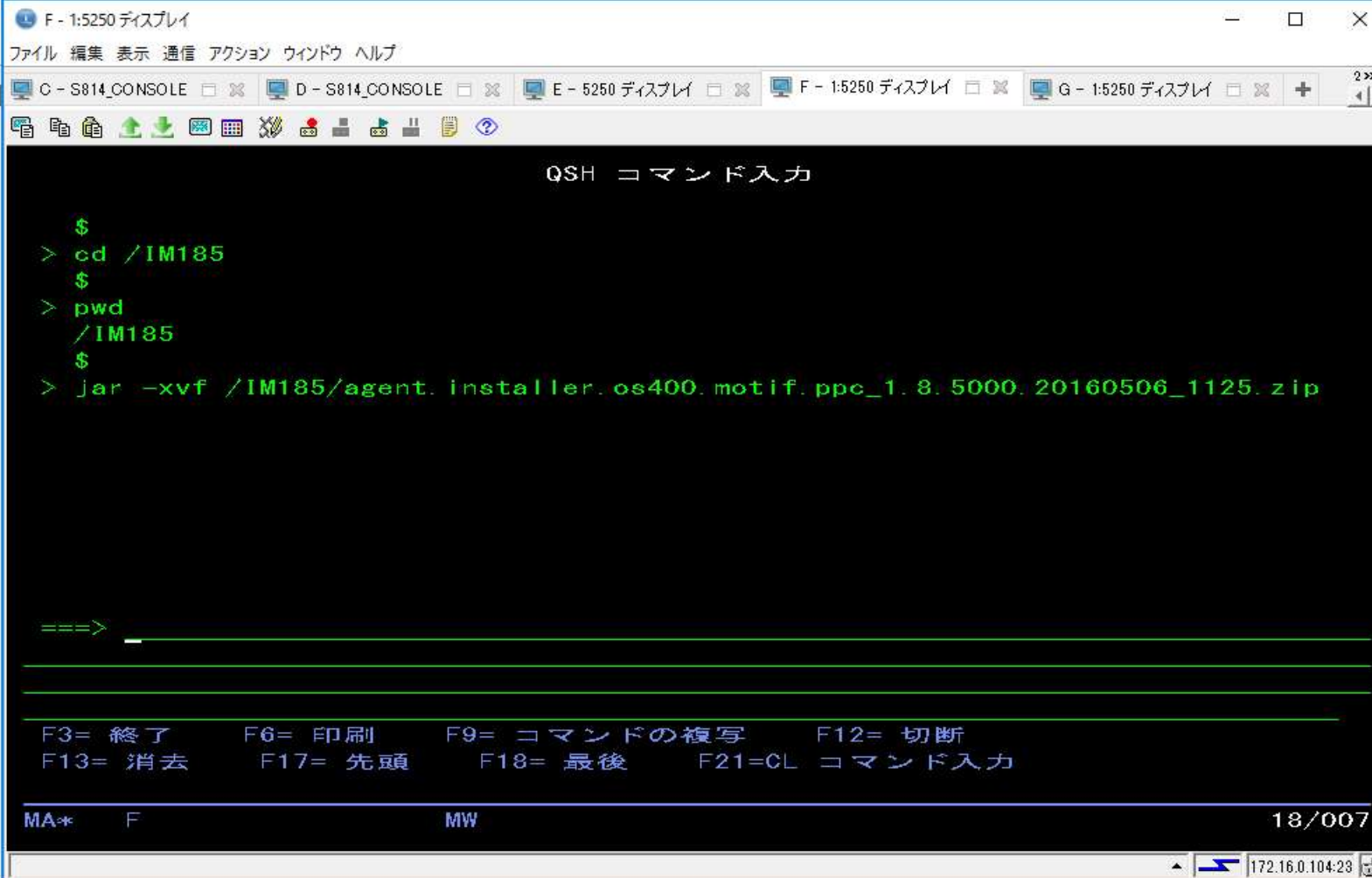
④qsh環境の実行(STRQSHコマンド)



【IM導入】

IM導入の続き

⑤転送されたzipファイルを解凍する。



The screenshot shows a terminal window titled "QSH コマンド入力" (QSH Command Input). The terminal displays the following commands and their outputs:

```
$  
> cd /IM185  
$  
> pwd  
/IM185  
$  
> jar -xvf /IM185/agent_installer_os400_motif_ppc_1.8.5000.20160506_1125.zip
```

Below the commands, there are several horizontal lines representing the progress of the unzip operation. At the bottom of the terminal, there is a status bar with the following information:

F3= 終了 F6= 印刷 F9= コマンドの複写 F12= 切断
F13= 消去 F17= 先頭 F18= 最後 F21=CL コマンド入力

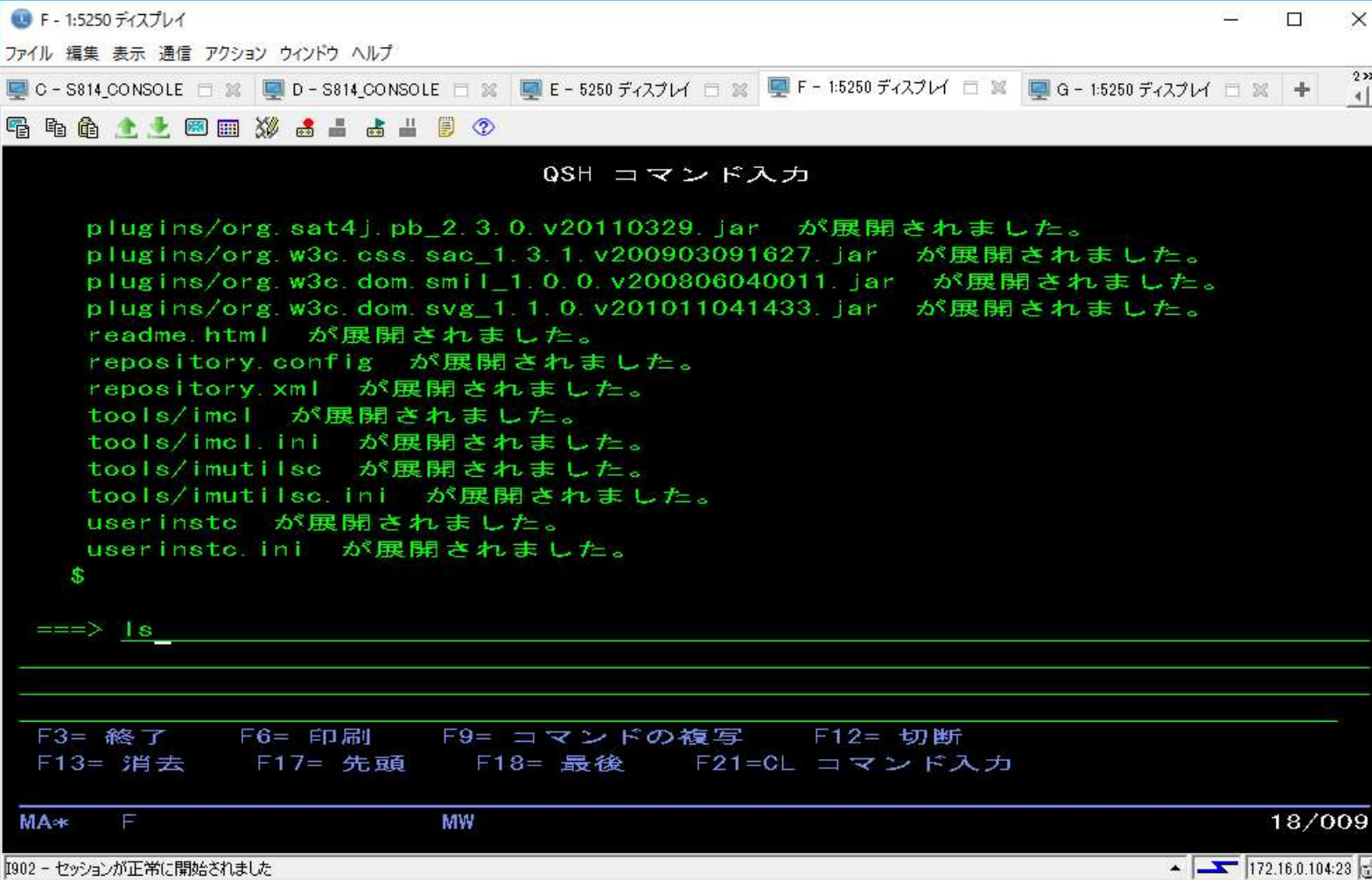
MA* F MW 18/007

The terminal window also shows a menu bar at the top with options: ファイル, 編集, 表示, 通信, アクション, ウィンドウ, ヘルプ. The window title bar indicates the current display is "F - 1:5250 ディスプレイ".

【IM導入】

IM導入の続き

※実行後の結果確認、LSコマンドにて



```
F - 1:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
C - S814_CONSOLE  D - S814_CONSOLE  E - 5250 ディスプレイ  F - 1:5250 ディスプレイ  G - 1:5250 ディスプレイ
QSH コマンド入力

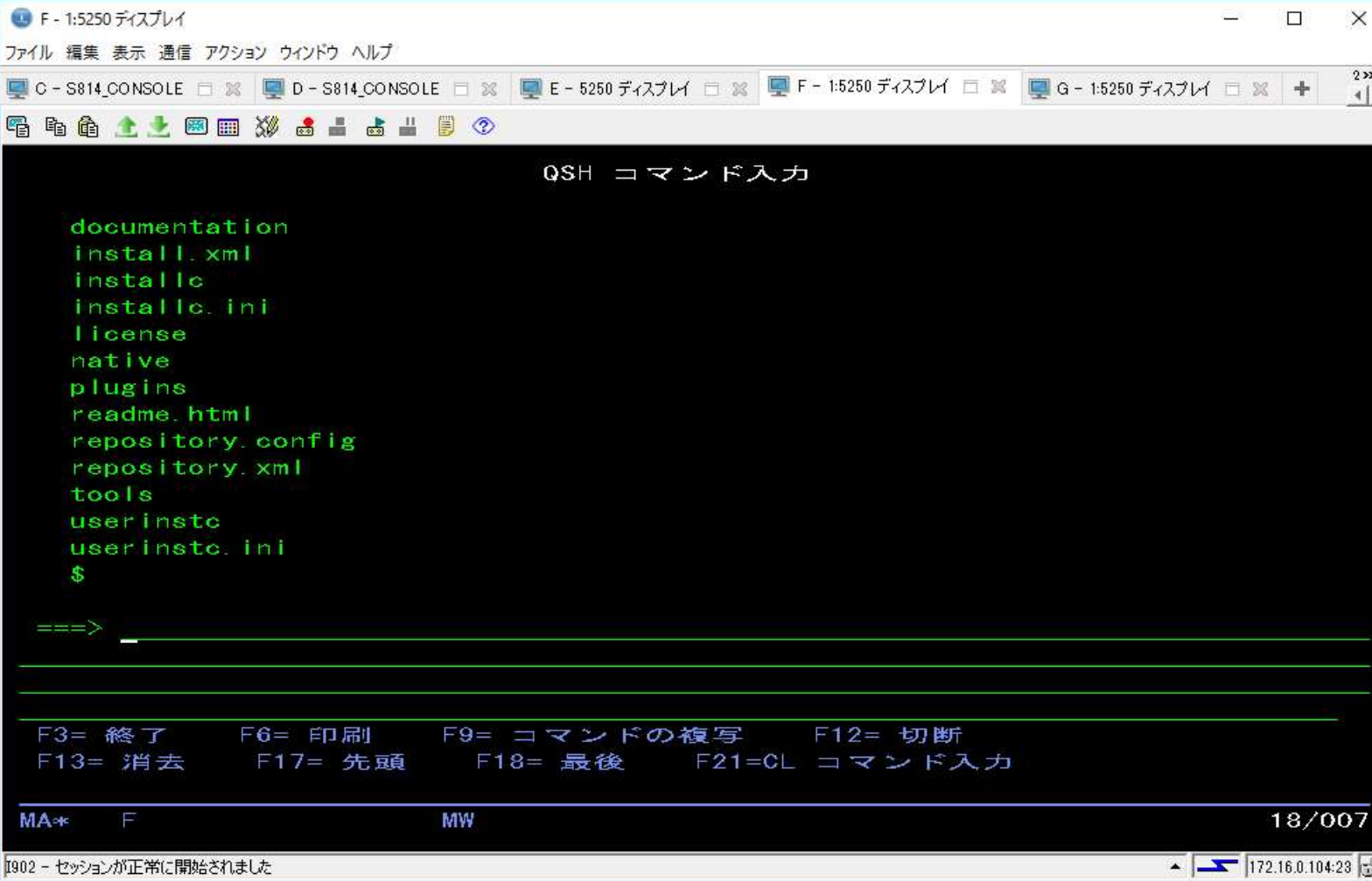
plugins/org.sat4j.pb_2.3.0.v20110329.jar が展開されました。
plugins/org.w3c.css.sac_1.3.1.v200903091627.jar が展開されました。
plugins/org.w3c.dom.smil_1.0.0.v200806040011.jar が展開されました。
plugins/org.w3c.dom.svg_1.1.0.v201011041433.jar が展開されました。
readme.html が展開されました。
repository.config が展開されました。
repository.xml が展開されました。
tools/imcl が展開されました。
tools/imcl.ini が展開されました。
tools/imutilsc が展開されました。
tools/imutilsc.ini が展開されました。
userinstc が展開されました。
userinstc.ini が展開されました。
$
==> ls

F3= 終了      F6= 印刷      F9= コマンドの複写  F12= 切断
F13= 消去     F17= 先頭     F18= 最後         F21=CL コマンド入力

MA*  F  MW  18/009
1902 - セッションが正常に開始されました  172.16.0.104:23
```

【IM導入】

IM導入の続き … 表示上小文字でない場合、CHGOPTA EXTMEDFMT(*YES)を実行する。



```
F - 1:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
C - S814_CONSOLE D - S814_CONSOLE E - 5250 ディスプレイ F - 1:5250 ディスプレイ G - 1:5250 ディスプレイ
QSH コマンド入力

documentation
install.xml
installc
installc.ini
license
native
plugins
readme.html
repository.config
repository.xml
tools
userinstc
userinstc.ini
$

===> _

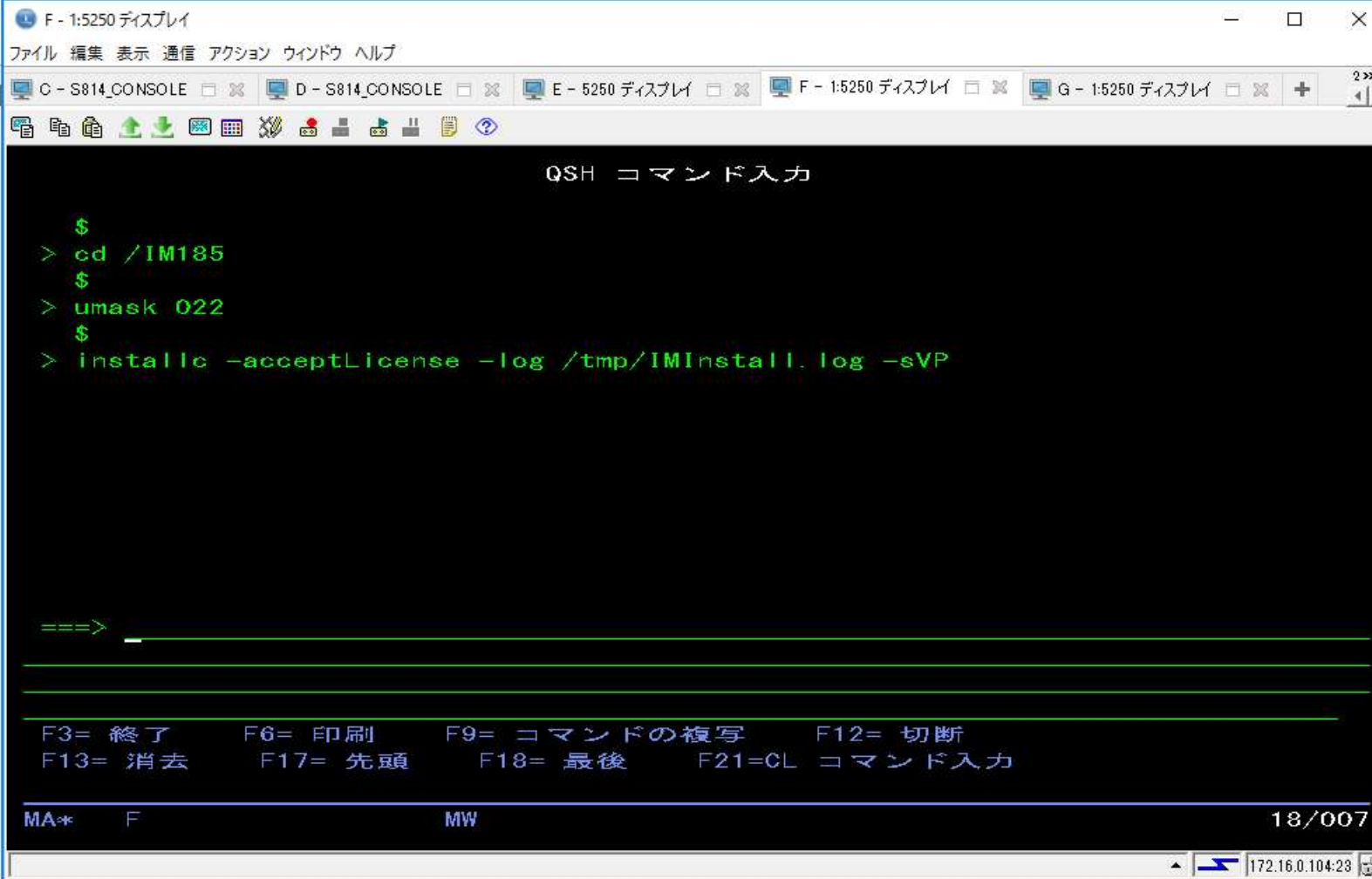
F3= 終了      F6= 印刷      F9= コマンドの複写    F12= 切断
F13= 消去     F17= 先頭     F18= 最後            F21=CL コマンド入力

MA*  F  MW 18/007
1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23
```

【IM導入】

IM導入の続き

⑥IMの導入 ... umask 022 実行後、導入コマンド



The screenshot shows a terminal window titled "QSH コマンド入力" (QSH Command Input). The terminal displays the following commands and their execution:

```
$  
> cd /IM185  
$  
> umask 022  
$  
> installc -acceptLicense -log /tmp/IMInstall.log -sVP
```

Below the commands, there are several horizontal lines representing the output of the installation process. At the bottom of the terminal, there is a status bar with the following information:

F3= 終了 F6= 印刷 F9= コマンドの複写 F12= 切断
F13= 消去 F17= 先頭 F18= 最後 F21=CL コマンド入力

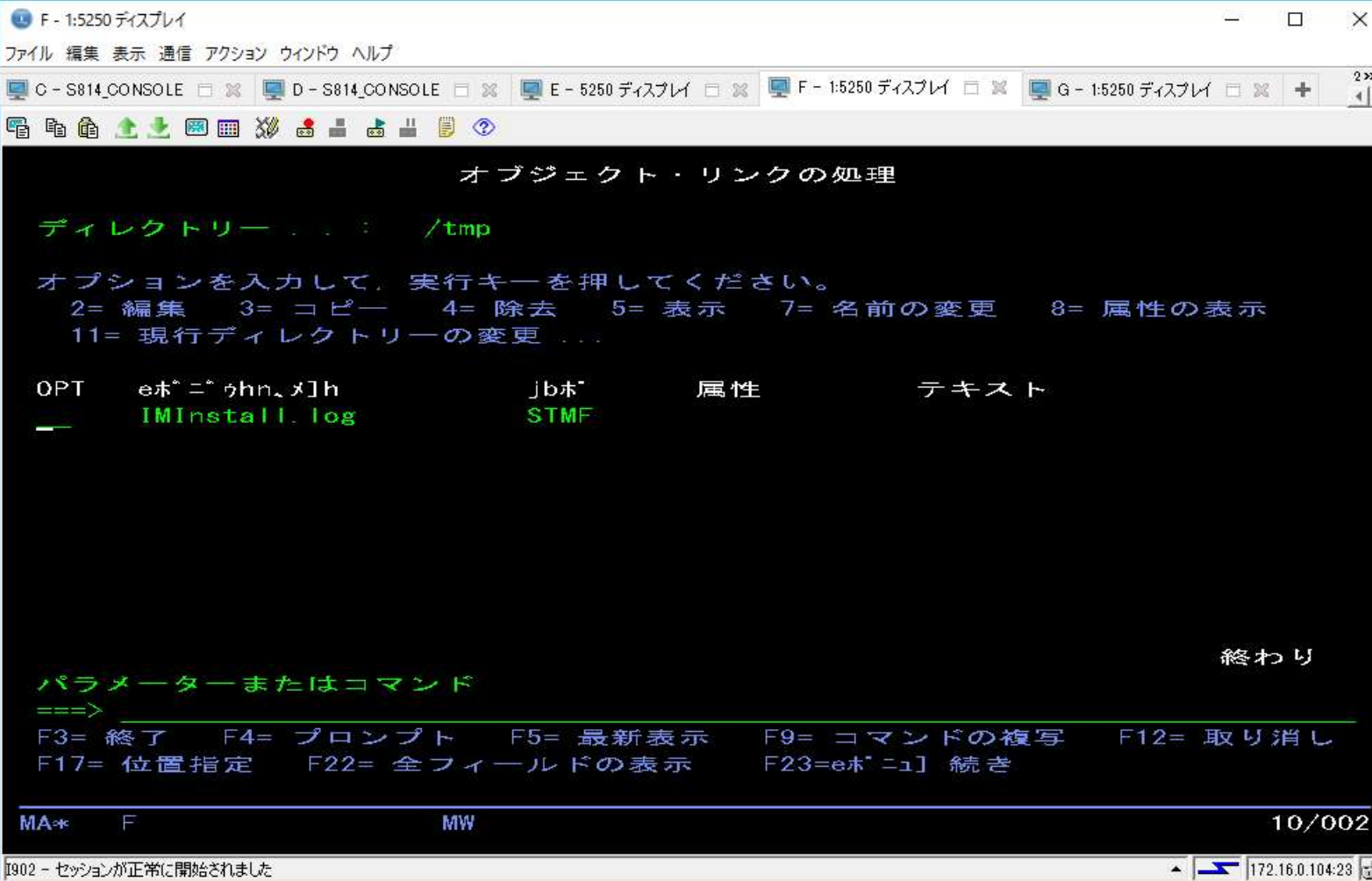
MA* F MW 18/007

The terminal window is part of a multi-monitor environment, with other monitors labeled C - S814_CONSOLE, D - S814_CONSOLE, E - 5250 ディスプレイ, and G - 1:5250 ディスプレイ. The window title bar shows "F - 1:5250 ディスプレイ".

【IM導入】

IM導入の続き

⑦導入後の確認 ... WRKLNK '/tmp/IMInstall.log'を実行し、OPT5にて確認



The screenshot shows a terminal window titled "F - 1:5250 ディスプレイ". The window contains the following text:

```
オブジェクト・リンクの処理  
ディレクトリー : /tmp  
オプションを入力して、実行キーを押してください。  
2= 編集 3= コピー 4= 除去 5= 表示 7= 名前の変更 8= 属性の表示  
11= 現行ディレクトリーの変更 ...  
OPT   eホニ*ghn、M]h      Jホ*      属性      テキスト  
_     IMInstall.log        STMF  
  
                                     終わり  
パラメーターまたはコマンド  
==>  
F3= 終了   F4= プロンプト   F5= 最新表示   F9= コマンドの複写   F12= 取り消し  
F17= 位置指定   F22= 全フィールドの表示   F23=eホニ*ユ] 続き  
-----  
MA*   F                               MW                               10/002  
1902 - セッションが正常に開始されました
```

【IM導入】

IM導入の続き

```
F - 1:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
C - S814_CONSOLE  D - S814_CONSOLE  E - 5250 ディスプレイ  F - 1:5250 ディスプレイ  G - 1:5250 ディスプレイ
ホ [cヌ] : /tmp/IMInstall.log
ロケーシ :      1   OF      2 BY 14      桁 :      1   59 BY 79
制御 : _____

..... 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7 .....
***** データの始め *****
<?xml version='1.0' encoding='UTF-8' ?>
<result/>
***** データの終わり *****

F3= 終了   F10=16 進表示   F12= 終了   F15= サービス   F16= 検索の反復
F19= 左    F20= 右

MA*      F                               MW                                03/012
172.16.0.104:23
```




【補足】

A

- 5722WE2のダウンロード・メディアを使用する場合、Installation Manager用のDVDが提供されています
- IBM i のディスクドライブに、Installation Managerのディスクを装填します
 - DVD装填前に、光ディスク装置の「拡張媒体形式のサポート」属性を変更
 - CHGOPTA EXTMEDFMT(*YES)
 - WRKLNK '/QOPT' で、オブジェクト名に小文字が含まれて表示していることを確認。大文字のみで表示されている場合、導入に失敗します

注意!!

オブジェクト・リンクの処理

ディレクトリー...: /qopt/IM_162_IBMI

オプションを入力して、実行キーを押してください。

2= 編集 3= コピー 4= 除去 5= 表示 7= 名前の変更 8= 属性の表示
11= 現行ディレクトリーの変更 ...

OPT	eホニウん、Xjh	jbホ*	属性	テキスト
	autorun.inf	DSTMF		
	launchpad	DDIR		
	launchpad.exe	DSTMF		
	launchpad.ini	DSTMF		
	launchpad.sh	DSTMF		
	launchpad_a11y.exe	DSTMF		
	launchpad_a11y.ini	DSTMF		
	launchpad64.exe	DSTMF		
	launchpad64.ini	DSTMF		



【Tips】Installation Manager導入に失敗する場合

A

- Installation Manager導入時に、以下のエラーで導入できない場合があります

CRIMC1018E エラー：管理者特権が必要です。

Installation Manager は管理者モードで開始されましたが、必要な管理者特権がありません。Microsoft Windows XP Professional の場合、管理者グループのメンバーである必要があります。Windows Vista、Windows 2008、および Windows 7 では、「管理者として実行」オプションを使用する必要があります。Linux、UNIX、IBM i、および z/OS では、ルート特権が必要です。

- Installation Managerの導入には*SECADM、*ALLOBJ 特殊権限が必要です。これらの権限が与えられているにも関わらず、導入できない場合があります

– ケース1

- *SECADM、*ALLOBJ特殊権限が、グループ・プロファイルの設定によって与えられている場合

– ケース2

- 環境変数CLASSPATHに、古いToolbox for Java のjarファイルjt400.jarが指定してある場合

– ケース3

- /QIBM/UserData/Java400/ext に古いjt400.jarファイルが配置されている場合

- (参考) Problem Installing Installation Manager - Error: 'Administrative Priviledges Required'

– <http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=nas8N1011184>

以上

【WAS8.5導入】

●WAS8.5の導入手順

①WAS8.559の物理メディアまたは、ダウンロードしたイメージファイルの準備

・イメージファイルの場合、・・・ イメージファイルでない場合には、②へ

※前提要件:

- ・仮想光装置(OPTVRT01)が作成済みであること
- ・WAS8.559以降のイメージファイルをESSサイトより、ダウンロードし、イメージカタログ登録済みであること

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き WRKIMGCLGコマンドの実行



イメージ・カタログの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 作成 2= 変更 4= 削除 8= ロード 9= アンロード 10= 検査
12= 項目の処理

OPT	bx-ニ ^o f j7h ^o	状況	jbホ ^o	ASP しきい 値	装置	装置状況
—	CUM	作動不能	光デ	*CALC		
—	GRP	作動不能	光デ	*CALC		
—	LIC	作動不能	光デ	*CALC		
—	OPS	作動不能	光デ	*CALC		
—	PYTHON	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99225	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99703	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99722	作動不能	光デ	*CALC		
8_	WAS855	作動不能	光デ	*CALC		
—	WQX220	作動不能	光デ	*CALC		

終わリ

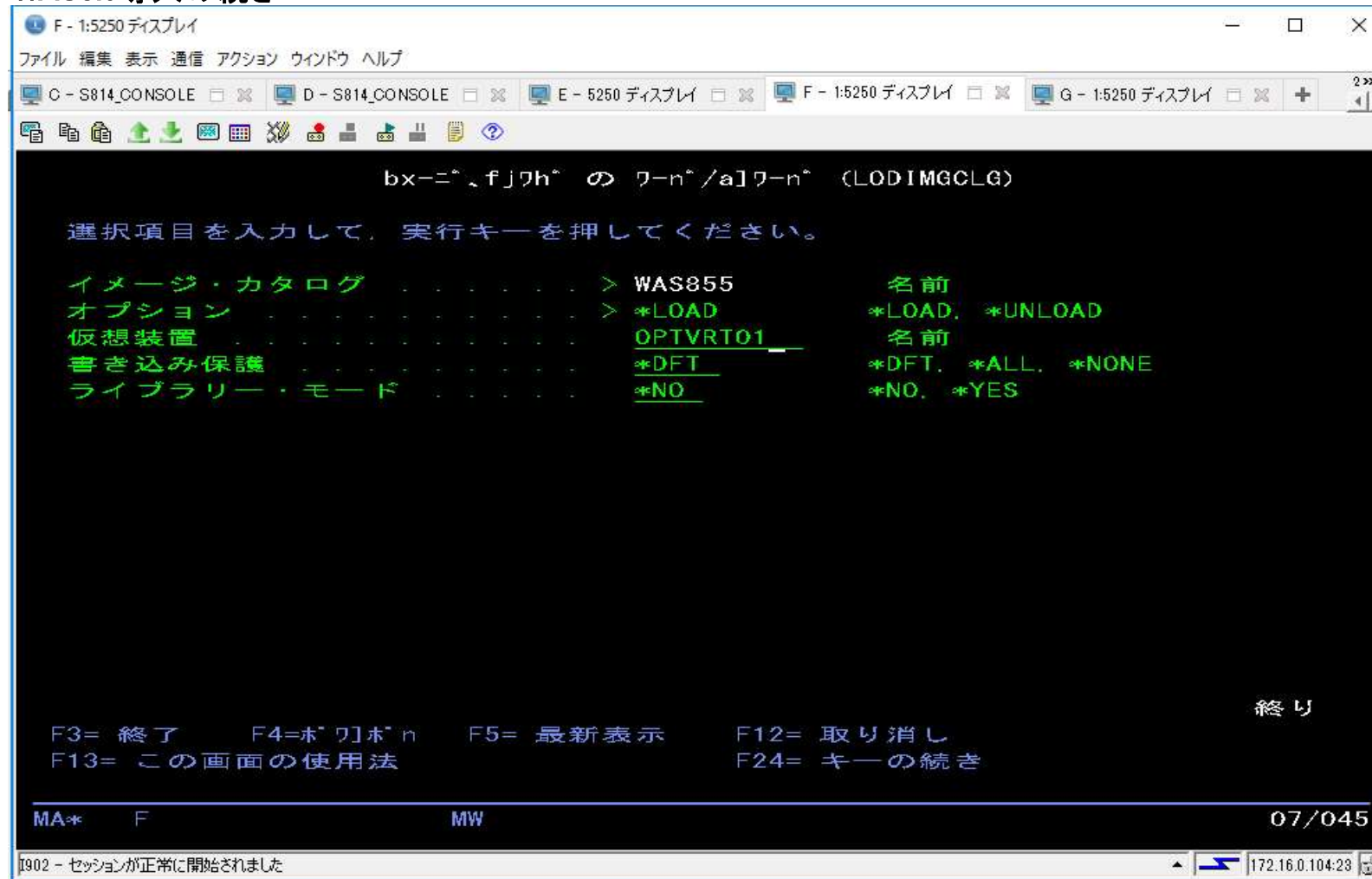
F3= 終了 F5= 最新表示 F11= 記述の表示 F12= 取り消し

MA* F MW 19/003

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き



【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

イメージ・カタログの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 作成 2= 変更 4= 削除 8= ロード 9= アンロード 10= 検査
12= 項目の処理

OPT	bx-ニ ^o fjwh ^o	状況	jbホ ^o	ASP しきい 値	装置	装置状況
—	CUM	作動不能	光デ	*CALC		
—	GRP	作動不能	光デ	*CALC		
—	LIC	作動不能	光デ	*CALC		
—	OPS	作動不能	光デ	*CALC		
—	PYTHON	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99225	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99703	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99722	作動不能	光デ	*CALC		
—	WAS855	作動可	光デ	*CALC	OPTVRT01	活動状態
—	WQX220	作動不能	光デ	*CALC		

終わリ

F3= 終了 F5= 最新表示 F11= 記述の表示 F12= 取り消し

イメージ・カタログ WAS855 がロードされました。

MA* F MW 10/002

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

②IBM Web Administrator for i の準備確認 ... WRKACTJOB SBS(QHTTSPVR)

活動ジョブ処理 E009C40T
16/09/16 13:44:39 JST
CPU %: 1.3 経過時間: 00:00:33 活動ジョブ: 181

オプションを入力して、実行キーを押してください。
2= 変更 3= 保留 4= 終了 5= 処理 6= 解放 7= メッセージ表示
8=スホーモ、ホヲモ の処理 13= 切断 ...

OPT	ナホニヌmw/ニユホ	マナー	jbホ	CPU %	機能	状況
—	QHTTSPVR	QSYS	SBS	.0		DEQW
—	ADMIN	QTMHHTTP	BCH	.0	PGM-QZHBMAIN	SIGW
—	ADMIN	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRLOG	SIGW
—	ADMIN	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRHTTP	SIGW
—	ADMIN	QSECOFR	BCI	.0	PGM-QZSRCGI	TIMW
—	ADMIN1	QLWISVR	BCI	.0	JVM-/qibm/prod	THDW
—	ADMIN2	QLWISVR	BCI	.3	JVM-/qibm/prod	THDW
—	ADMIN3	QLWISVR	BCI	.0	JVM-/qibm/prod	THDW
—	ADMIN4	QWEBADMIN	BCI	.0	JVM-/qibm/prod	THDW

パラメーターまたはコマンド
==>

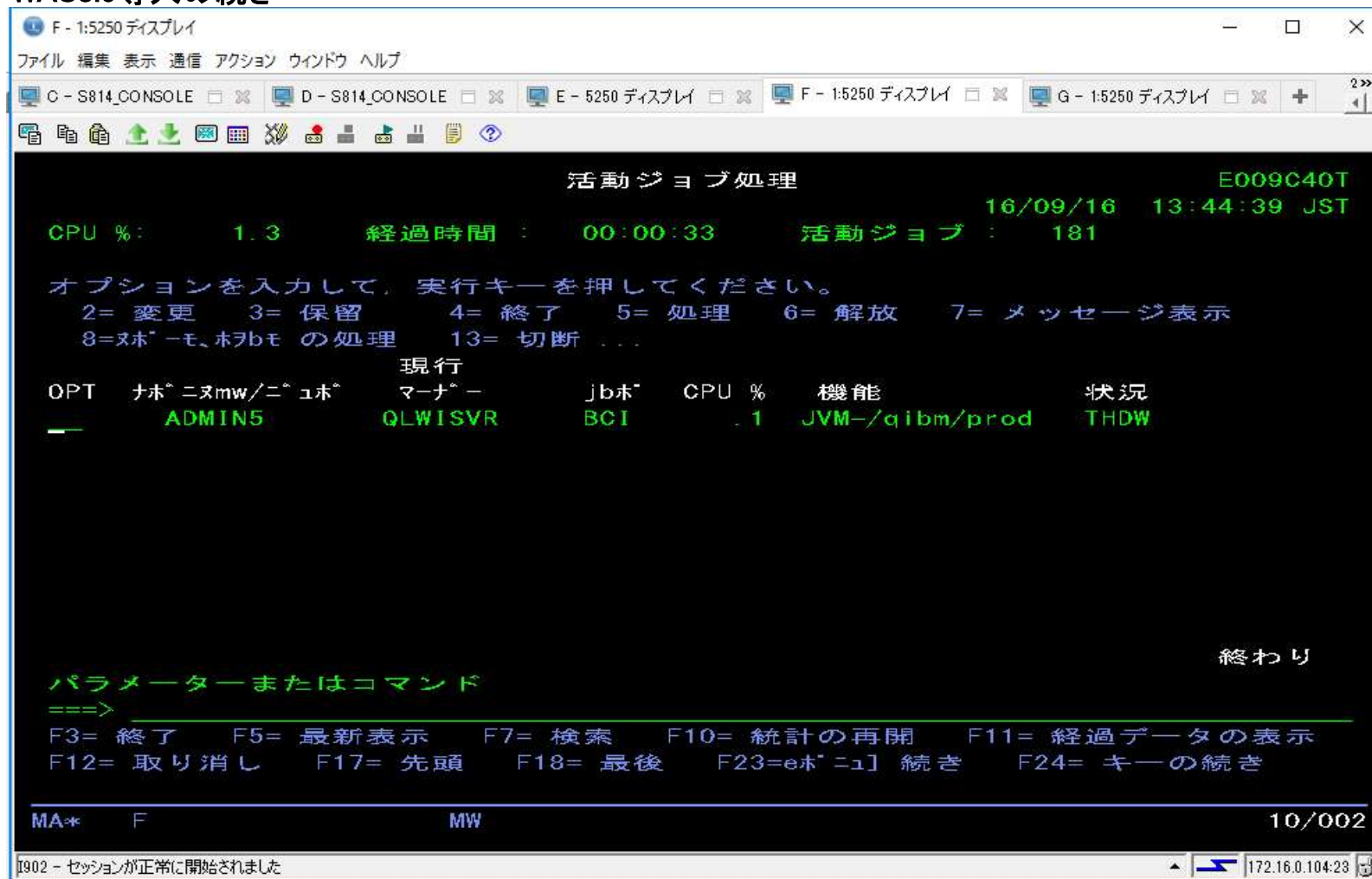
F3= 終了 F5= 最新表示 F7= 検索 F10= 統計の再開 F11= 経過データの表示
F12= 取り消し F17= 先頭 F18= 最後 F23=eホニユ] 続き F24= キーの続き

MA* F MW 10/002

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き



【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

③ブラウザを起動し、IBM Web Administrator for i 画面を表示する。・・・ `http://IBMiのIPアドレス:2001/HTTPAdmin` を指定する。
※ログイン画面が出たら、IBMiで登録されているユーザー（SECOFR権限）でログインする。

Windows セキュリティ

iexplore.exe

サーバー 172.16.0.104 がユーザー名とパスワードを要求しています。サーバーの報告によると、これは HTTP Admin からの要求です。

警告: ユーザー名とパスワードは、セキュリティで保護されていない接続で基本認証を使用して送信されます。

ユーザー名

パスワード

資格情報を記憶する

OK キャンセル

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'IBM Web Administration for i'. The main navigation bar includes 'セットアップ', '管理', '拡張', and '関連したリンク'. The breadcrumb trail is 'すべてのサーバー > HTTP サーバー > Application Server > インストール済み環境'. The left sidebar contains a tree view with '共通タスクおよびウィザード' expanded, showing 'Web Services サーバーの作成', 'HTTP サーバーの作成', and 'アプリケーション・サーバーの作成'. The main content area is titled 'すべてのサーバーの管理' and has two tabs: 'すべての HTTP サーバー' (selected) and 'すべてのアプリケーション・サーバー'. Below the tabs, it says '2016/09/16 13:51:43 の現行データ'. A table lists the servers with columns for 'サーバー', 'バージョン', '状況', 'アドレス:ポート', '関連アプリケーション・サーバー', and '記述'. The table contains five rows: 'ADMIN' (実行中), 'AJSP' (停止済み), 'APACHEDEFI' (停止済み), 'IWADFT' (停止済み), and 'WQLIB85' (停止済み). At the bottom of the table area, there are buttons for '最新表示', '始動', '停止', '再始動', '詳細の管理', '削除', and '名前変更'.

サーバー	バージョン	状況	アドレス:ポート	関連アプリケーション・サーバー	記述
ADMIN	Apache/2.4.12 (IBM i)	実行中	*:2001	なし	管理サーバー
AJSP	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:8210	なし	
APACHEDEFI	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:80	なし	IBM 提供のサンプル HTTP サーバー (powered by Apache)
IWADFT	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:2020	なし	
WQLIB85	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:12331	WQLIB85	

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

④「インストール済み環境」タブを選択し、「インストール」ボタンを押下。

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク
すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

▼ 共通タスクおよびウィザード
■ Web Services サーバーの作成
■ HTTP サーバーの作成
■ アプリケーション・サーバーの作成

▼ インストール済み環境
■ WebSphere Application Server のインストール
■ インストール済み環境の管理

▼ ツール
■ Installation Manager

インストール済み環境の管理

WebSphere Application Server

WebSphere Application Server V8.0 以上は、IBM Installation Manager (IM) によってインストールおよび管理されます。IBM Web Administration for i には、IM が新しい WebSphere Application Server をインストールしたり、既存のインストール済み環境を暫定修正またはフィックスパックで更新したり、システムから製品インストール済み環境をアンインストールしたり、インストール済みの暫定修正を表示したり、インストール済み環境から暫定修正を削除したりするための GUI インターフェースがあります。インストール済み環境を管理できるのは、特殊権限 *ALLOBJ および *SECADM を有する管理者のみです。

プロダクト・インストール・パス	バージョン	状況
このテーブルに項目がありません。		

インストール | 更新 | アンインストール | フィックスの表示 | 最新表示

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑤「次へ」を選択

The screenshot shows a web browser window with the URL `http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin`. The page title is "IBM Web Administration for i". The navigation menu includes "セットアップ", "管理", "拡張", and "関連したリンク". The breadcrumb trail is "すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境".

The main content area is titled "WebSphere Application Server のインストール" and shows "ウェルカム - ステップ 1 / 6". The text below reads: "「WebSphere Application Server のインストール」ウィザードへようこそ。このウィザードは、新しい WebSphere Application Server V8.0 以上のデプロイメントをシステムにインストールするのに役立ちます。"

At the bottom of the wizard, there are three buttons: "戻る", "次へ", and "キャンセル".

The left sidebar contains a tree view with the following items:

- ▼ 共通タスクおよびウィザード
 - Web Services サーバーの作成
 - HTTP サーバーの作成
 - アプリケーション・サーバーの作成
- ▼ インストール済み環境
 - WebSphere Application Server のインストール
 - インストール済み環境の管理
- ▼ ツール
 - Installation Manager

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑥「参照」を選択

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

WebSphere Application Server のインストール
製品インストール・パッケージ・ロケーションの指定 - ステップ 3 / 6

WebSphere Application Server 製品を新規にインストールするには、製品インストール・パッケージが必要です。製品インストール・パッケージのパスを指定してください。製品インストール・パッケージは、ローカル・システム上にあっても、リモート・システム上にあっても構いません。リモート・インストール・ロケーションへのアクセスが必要な場合には、ユーザー認証を指定してください。

製品インストール・パッケージ

ロケーション: [参照](#)

例: /builds/WAS/, http://www.ibm.com/software/repositorymanager/com.ibm.websphere.ND.v80/repository.config

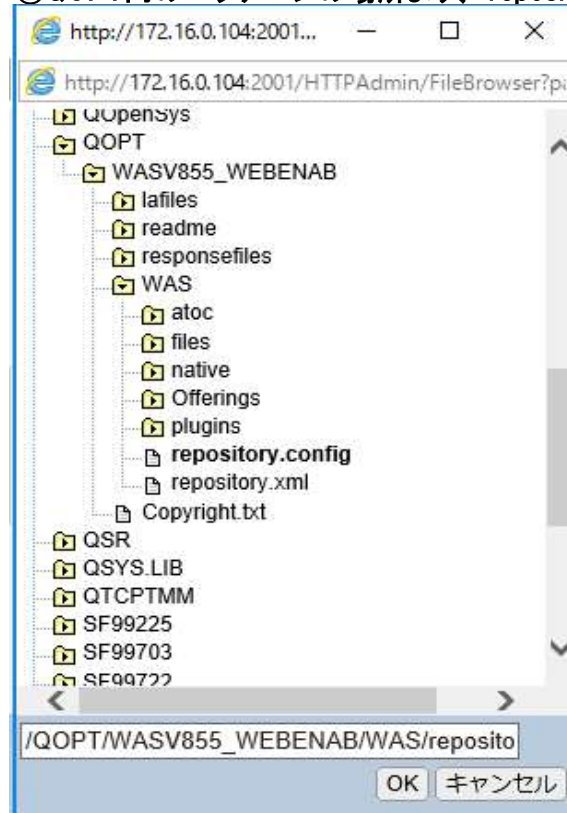
インストール・ロケーションにアクセスするための認証の指定

戻る 次へ キャンセル

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑦QOPT内のパッケージの場所より、「repository.config」ファイルを指定してOKボタンを押下。



【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑧ロケーションが反映されていることを確認し、「次へ」を選択。



IBM Web Administration for i
セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server インストール済み環境

WebSphere Application Server のインストール
製品インストール・パッケージ・ロケーションの指定 - ステップ 3 / 6

WebSphere Application Server 製品を新規にインストールするには、製品インストール・パッケージが必要です。製品インストール・パッケージのパスを指定してください。製品インストール・パッケージは、ローカル・システム上にあっても、リモート・システム上にあっても構いません。リモート・インストール・ロケーションへのアクセスが必要な場合には、ユーザー認証を指定してください。

製品インストール・パッケージ

ロケーション: 参照

例: /builds/WAS/, http://www.ibm.com/software/repositorymanager/com.ibm.websphere.ND.v80/repository.config

インストール・ロケーションにアクセスするための認証の指定

戻る 次へ キャンセル

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑨パッケージ候補を選択してOKボタンを押下。・・・ 8.5.5.9以降であることを確認します。

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The main content area displays the 'WebSphere Application Server のインストール' wizard, specifically the '製品インストール・パッケージ・ロケーションの指定 - ステップ 3 / 6' screen. A dialog box titled '製品インストール・パッケージ 情報' is open, providing details about the selected package. The dialog text reads: '指定された製品パスに、次の WebSphere Application Server パッケージが見つかりました。システムにインストールするパッケージを選択してください。' Below this, two package identifiers are listed: 'com.ibm.websphere.WEBENAB.v85_8.5.5009.20160225_0435' (selected) and 'com.ibm.websphere.liberty.WEBENAB.v85_8.5.5009.20160227_1546'. The dialog includes 'OK' and 'キャンセル' buttons. The background interface shows navigation buttons like '戻る', '次へ', and 'キャンセル' at the bottom.

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑩「完了」を選択して導入が開始されます。・・・しばらく時間が掛かります。

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

WebSphere Application Server のインストール

要約 - ステップ 6 / 6

「完了」をクリックすると、この新しい WebSphere Application Server V8.5.5.9 Express がシステムにインストールされます。

プロダクト・インストール・パス:	/QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express
パッケージ・ロケーション:	/QOPT/WASV855_WEBENAB/WAS/repository.config

戻る 完了 キャンセル

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

インストール済み環境の管理

WebSphere Application Server

WebSphere Application Server V8.0 以上は、IBM Installation Manager (IM) によってインストールおよび管理されます。IBM Web Administration for i には、IM が新しい WebSphere Application Server をインストールしたり、既存のインストール済み環境を暫定修正またはフィックスパックで更新したり、システムから製品インストール済み環境をアンインストールしたり、インストール済みの暫定修正を表示したり、インストール済み環境から暫定修正を削除したりするための GUI インターフェースがあります。インストール済み環境を管理できるのは、特殊権限 *ALLOBJ および *SECADM を有する管理者のみです。

プロダクト・インストール・パス	バージョン	状況
/QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express	V8.5.5.9 Express	インストール中

インストール | 更新 | アンインストール | フィックスの表示 | 最新表示

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

①「最新表示」押下にて「使用可能」になっていることを確認。

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク
すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

▼ 共通タスクおよびウィザード
 Web Services サーバーの作成
 HTTP サーバーの作成
 アプリケーション・サーバーの作成

▼ インストール済み環境
 WebSphere Application Server のインストール済み環境の管理

▼ ツール
 Installation Manager

インストール済み環境の管理

WebSphere Application Server

WebSphere Application Server V8.0 以上は、IBM Installation Manager (IM) によってインストールおよび管理されます。IBM Web Administration for i には、IM が新しい WebSphere Application Server をインストールしたり、既存のインストール済み環境を暫定修正またはフィックスパックで更新したり、システムから製品インストール済み環境をアンインストールしたり、インストール済みの暫定修正を表示したり、インストール済み環境から暫定修正を削除したりするための GUI インターフェースがあります。インストール済み環境を管理できるのは、特殊権限 *ALLOBJ および *SECADM を有する管理者のみです。

プロダクト・インストール・パス	バージョン	状況
/QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express	V8.5.5.9 Express	✓ 使用可能

インストール | 更新 | アンインストール | フィックスの表示 | 最新表示

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑫正しく導入されたかの確認。 ...「すべてのサーバー」タブの「アプリケーション・サーバー作成」を選択した後、次へを選択。

IBM Web Administration for i
セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

▼ 共通タスクおよびウィザード
■ Web Services サーバーの作成
■ HTTP サーバーの作成
■ アプリケーション・サーバーの作成

アプリケーション・サーバーの作成

「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードへようこそ。このウィザードは、動的コンテンツのある Web アプリケーションを実行するために新規アプリケーション・サーバーを作成し、関連する外部 HTTP サーバーの Web サーバー・プラグイン構成を更新し、必要なすべてのデータベース・プロバイダーとインストールするために選択した Web アプリケーションに必要な接続を作成します。

- **製品および Installation Manager のインストール**
ウィザードは、サーバーの作成および構成に加えて、WebSphere Application Server バージョン 8.0 以上の製品に必要とされる製品および Installation Manager のインストールを処理します。WebSphere Application Server を新規の製品インストール済み環境に作成するには、製品パッケージが必要です。ウィザードは、WebSphere Application Server 製品をインストールする際に必要な IBM Installation Manager ツールのインストールとアップグレードも行います。
- **ホスト経路指定の構成**
アプリケーションにアクセスするためには、ホストにマップする必要があります。ホストは、ホスト名または IP アドレスとポート番号によって定義されます。デフォルトでは、アプリケーションは、アプリケーション・サーバーに定義されたホストのデフォルト・リストを介してアクセスできるように構成されます。よりきめの細かい制御が必要な場合は、アプリケーションを特定のホストに対して構成することで、アプリケーションへのアクセスを制限することができます。
- **アプリケーションのインストール**
アプリケーションをアクセス可能にするには、アプリケーション・サーバーにインストールする必要があります。「新規アプリケーションのインストール」ウィザードは、アプリケーションが含まれているアーカイブ・ファイルを取り出し、アプリケーションをサーバーに配置します。
- **データベース接続のセットアップ**
多くのアプリケーションは、データを検索し、保管するのにデータベースにアクセスする必要があります。データベース・プロバイダーおよび接続は、データベースへのアクセス方法、アクセスするデータベース、およびデータベースが存在する場所をサーバーに伝えるために使用される手段です。

戻る 次へ キャンセル

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

※「WebSphere Application Server」配下に「V8.5.5.9 Express」が表示されていればOKです。

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

▼ 共通タスクおよびウィザード
■ Web Services サーバーの作成
■ HTTP サーバーの作成
■ アプリケーション・サーバーの作成

アプリケーション・サーバーの作成

アプリケーション・サーバーのバージョンおよびタイプの指定

このシステムには複数のバージョンおよびタイプのアプリケーション・サーバーがインストールされています。WebSphere Application Server バージョン 8.0 以上の場合、既存のインストール済み環境にサーバーを作成するか、新規に WebSphere Application Server をインストールするかを選択できます。これには、製品パッケージがこのローカル・システムまたはリモート・システム上に存在する必要があります。このウィザードは、この新しいインストール済み環境を使用したサーバーの作成と構成に加えて、インストール手順も処理します。

作成するアプリケーション・サーバーのタイプを選択します

IBM integrated Web application server for i:

V8.5 IBM Integrated Web Application Server for i は、最小限のフットプリントであり、構成しやすく、動的 Web アプリケーションをホスティングするためのセキュア環境です。
詳しくは、次のサイトにアクセスしてください。 <http://www.ibm.com/systems/i/software/ias/>

WebSphere Application Server:

新規インストール
 V8.5.5.9 Express

戻る 次へ キャンセル

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

⑬IBM側にて確認

※ライセンス情報 ... GO LICPGM OPT10にて

導入済みライセンス・プログラムの表示

システム : E009C40T

[bネ]ヌ、 ホ`ワh` [w	導入 状況	記述
5770WDS	*COMPATIBLE	コンパイラ - C/C++ 用の IXL
5770WDS	*COMPATIBLE	WORKSTATION TOOLS - BASE
5733WQX	*INSTALLED	IBM DB2 WEB QUERY FOR I
5733WQX	*INSTALLED	WEB QUERY STANDARD EDITION
5733WQX	*INSTALLED	WEB QUERY OPTION 3
5733WQX	*INSTALLED	WEB QUERY DEVELOPER USERS
5733WQX	*INSTALLED	WEB QUERY DEVELOPER WORKBENCH USERS
5733WQX	*INSTALLED	WEB QUERY RUNTIME ENABLEMENT GROUPS
5733WQX	*INSTALLED	WEB QUERY JD EDWARDS ADAPTER
5733WQX	*INSTALLED	DATAMIGRATOR FOR I
5733W85	*INSTALLED	WebSphere Application Server V85 for IBM i
5733W85	*INSTALLED	WebSphere Application Server V85 Express
5770XE1	*COMPATIBLE	IBM I ACCESS FOR WINDOWS
5770XH2	*COMPATIBLE	IBM I ACCESS FOR WEB

続 く

続行するには、実行キーを押してください。

F3= 終了 F11= リリースの表示 F12= 取り消し F19= 商標の表示

MA* F MW 01/001

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:28

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

※ライブラリー情報 ... WRKLIB QWAS85*

ライブラリーの処理

オプションを入力して、実行キーを押してください。

1= 作成 2= 変更 3= コピー 4= 削除 5= 表示 6= 印刷
8= ライブラリー記述の表示 9= 保管 10= 復元
11= 変更済みオブジェクトの保管 12= オブジェクトの処理 14= 消去

OPT	[bホ* [メー	属性	ASP	装置	テキスト
—	QWAS85	PROD			
—	QWAS85A	PROD			

終わり

オプション 1, 2, 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12 のパラメーターまたはコマンド
==>

F3= 終了 F4= プロンプト F5= 最新表示 F9=てu]n* の複写
F11= 名前だけの表示 F12= 取り消し F16= 位置指定の繰り返し F17= 位置指定

MA* F MW 09/002

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

※IFS情報 ... /QIBM/ProdData および、 /QIBM·UserData のそれぞれの配下の確認

オブジェクト・リンクの処理

ディレクトリー ... : /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express

オプションを入力して、実行キーを押してください。
2= 編集 3= コピー 4= 除去 5= 表示 7= 名前の変更 8= 属性の表示
11= 現行ディレクトリーの変更 ...

OPT	eホニウh、X]h	jbホ	属性	テキスト
—	bin	DIR		
—	cip	DIR		
—	classes	DIR		
—	configuration	DIR		
—	deploytool	DIR		
—	derby	DIR		
—	dev	DIR		
—	endorsed_api	DIR		
—	etc	DIR		

続 く ...

パラメーターまたはコマンド
==>

F3= 終了 F4= プロンプト F5= 最新表示 F9= コマンドの複写 F12= 取り消し
F17= 位置指定 F22= 全フィールドの表示 F23=eホニウ] 続き

MA* F MW 10/002

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き



【WAS8.5導入】

WAS8.5導入の続き

※ユーザープロファイル ... WRKUSRPRF QEJB*

ユーザー・プロファイルの処理

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 作成 2= 変更 3= コピー 4= 削除 5= 表示
12= 所有者によるオブジェクトの処理

OPT	マナー、 ホワホホモ	テキスト
—	QEJB	IBM 提供ユーザー・プロファイル
—	QEJBSVR	IBM 提供ユーザー・プロファイル

終わり

オプション 1, 2, 3, 4, 5 のパラメーターまたはコマンド
==>

F3= 終了	F5= 最新表示	F12= 取り消し	F16= 位置指定の繰り返し
F17= 位置指定	F21= 援助レベルの選択	F24= キーの続き	

MA* F MW 09/002

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

以上

【WAS8.5のPTF導入】

●WAS V8.5のPTF適用の概要

・フィックスの入手

-フィックスをFix Central から入手します

<http://www-933.ibm.com/support/fixcentral/options>

-IBM i WASグループPTFでFix Packを入手

・他のグループPTF同様に入手

・IBM i 7.2の場合SF99481、IBM i 7.1の場合SF99381、IBM i 6.1の場合SF99376

・WASのFix Pack の他、WASの前提であるDB, HTTP, JavaなどのPTFが含まれている

・フィックスの適用方法

-Fix Pack

・通常のグループPTFと同じように適用

・適用後、QSHHELLコマンド・ラインより、Installation Managerを使って適用

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

①グループPTF適用前 ... WASのGRPPTFが適用されていない状況

PTF グループの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 発注 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示 10=PTF 適用情報の表示

OPT	PTF グループ	冊数	状況
—	SF99876	1	導入済み
—	SF99875	2	導入済み
—	SF99731	4	未導入
—	SF99730	16085	導入済み
—	SF99729	4	導入済み
—	SF99728	3	導入済み
—	SF99725	1	導入済み
—	SF99725	2	導入済み
—	SF99724	3	導入済み
—	SF99723	2	導入済み
—	SF99722	2	導入済み
—	SF99722	3	導入済み
—	SF99703	1	導入済み

続 く ...

F3= 終了 F6= 印刷 F11= 記述の表示 F12= 取り消し
F22= 全フィールドの表示

MA* F MW 08/002

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

```
F - 1:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
C - S814_CONSOLE  D - S814_CONSOLE  E - 5250 ディスプレイ  F - 1:5250 ディスプレイ  G - 1:5250 ディスプレイ
PTF グループの処理
システム : E009C40T
オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 発注   4= 削除   5= 表示   6= 印刷   8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示   10=PTF 適用情報の表示

OPT  PTF   グループ          テキスト
---  ---
SF99876  HIGH AVAILABILITY FOR IBM I
SF99875  HARDWARE AND RELATED PTFS
SF99731  ALL PTF GROUPS EXCEPT CUMULATIVE PTF PACKAGE
SF99730  CUMULATIVE PTF PACKAGE C6085730
SF99729  GROUP HIPER
SF99728  GROUP SECURITY
SF99725  JAVA
SF99725  JAVA
SF99724  BACKUP RECOVERY SOLUTIONS
SF99723  PERFORMANCE TOOLS
SF99722  IBM HTTP SERVER FOR I
SF99722  IBM HTTP SERVER FOR I
SF99703  DB2 FOR IBM I

F3= 終了   F6= 印刷   F11= 状況表示   F12= 取り消し   F22= 全フィールドの表示
          続く ...

MA*  F          MW          08/002
I902 - セッションが正常に開始されました
172.16.0.104:23
```

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

PTF グループの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。

1= 発注 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示 10=PTF 適用情報の表示

OPT	PTF グループ	冊数	状況
—	SF99703	2	導入済み
—	SF99581	1	未導入
—	SF99252	1	関連グループ

終わリ

F3= 終了 F6= 印刷 F11= 記述の表示 F12= 取り消し
F22= 全フィールドの表示

MA* F MW 08/002

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

```
F - 1:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
C - S814_CONSOLE  D - S814_CONSOLE  E - 5250 ディスプレイ  F - 1:5250 ディスプレイ  G - 1:5250 ディスプレイ
PTF グループの処理
システム : E009C40T
オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 発注    4= 削除    5= 表示    6= 印刷    8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示    10=PTF 適用情報の表示

OPT  PTF  グループ          テキスト
---  ---  ---
  1   SF99703          DB2 FOR IBM I
  2   SF99581          WEBSHERE APP SERVER V8.5
  3   SF99252          CONTENT MANAGER ONDEMAND FOR I - 5770-RD1 7.3

                                     終わり
F3= 終了    F6= 印刷    F11= 状況表示    F12= 取り消し    F22= 全フィールドの表示

MA*  F          MW                                     08/002
I902 - セッションが正常に開始されました | 172.16.0.104:23
```

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

②GRPPTFの適用準備 …… WRKIMGCLGコマンドより

●イメージファイルの場合

※前提要件:

- ・仮想光装置 (OPTVRT01) が作成済みであること
- ・SF99731または、個別グループSF99581のイメージファイルをFixCentralサイトより、ダウンロードし、イメージカタログ登録済みであること

イメージ・カタログの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 作成 2= 変更 4= 削除 8= ロード 9= アンロード 10= 検査
12= 項目の処理

OPT	bx-コ f j r h	状況	j b 本	ASP しきい 値	装置	装置状況
—	CUM	作動不能	光デ	*CALC		
8_	GRP	作動不能	光デ	*CALC		
—	LIC	作動不能	光デ	*CALC		
—	OPS	作動不能	光デ	*CALC		
—	PYTHON	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99225	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99703	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99722	作動不能	光デ	*CALC		
—	WAS855	作動不能	光デ	*CALC		
—	WQX220	作動不能	光デ	*CALC		

終わり

F3= 終了 F5= 最新表示 F11= 記述の表示 F12= 取り消し

MA* F MW 12/003

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き



【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

イメージ・カタログの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= 作成 2= 変更 4= 削除 8= ロード 9= アンロード 10= 検査
12= 項目の処理

OPT	bx-ニ° fjh°	状況	jbn°	ASP しきい 値	装置	装置状況
—	CUM	作動不能	光デ	*CALC		
—	GRP	作動可	光デ	*CALC	OPTVRT01	活動状態
—	LIC	作動不能	光デ	*CALC		
—	OPS	作動不能	光デ	*CALC		
—	PYTHON	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99225	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99703	作動不能	光デ	*CALC		
—	SF99722	作動不能	光デ	*CALC		
—	WAS855	作動不能	光デ	*CALC		
—	WQX220	作動不能	光デ	*CALC		

終わリ

F3= 終了 F5= 最新表示 F11= 記述の表示 F12= 取り消し

イメージ・カタログ GRP がロードされました。

MA* F MW 10/002

1902 - セッションが正常に開始されました

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

③グループPTF適用 ... GO PTFより、OPT8にて

プログラム一時修正の導入オプション

システム : E009C40T

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

装置	OPTVRT01	名前	*SERVICE, *NONE
自動 IPL	Y	Y=YES	N=NO
媒体のプロンプト	1	1= 単一の PTF ポリリューム・セット	2= 複数の PTF ポリリューム・セット
		3= 複数のポリリューム・セットおよび	*SERVICE
再始動タイプ	*SYS	*SYS, *FULL	
その他のオプション	N	Y=YES	N=NO

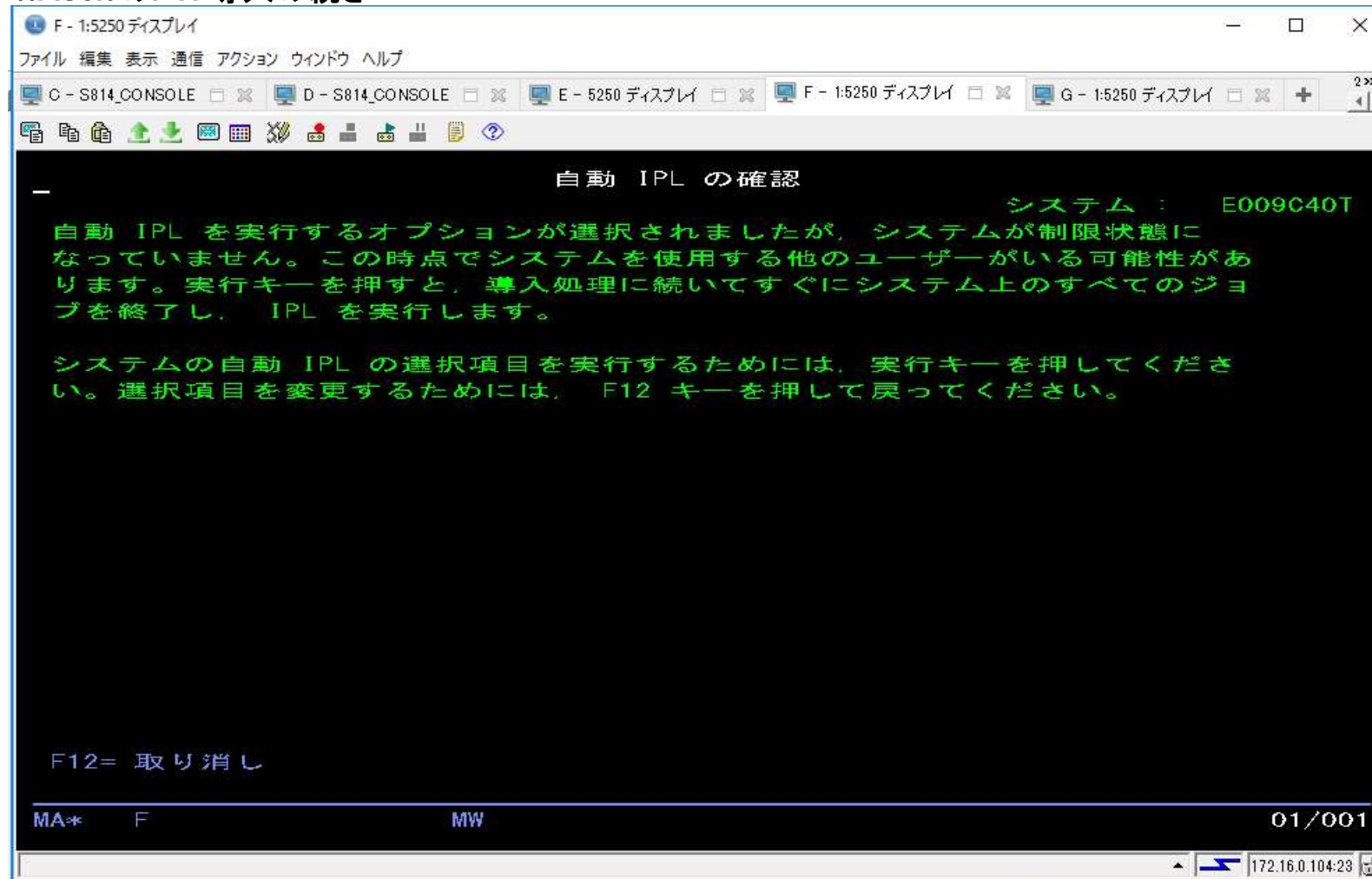
F3= 終了 F12= 取り消し

MA* F MW 05/040

172.16.0.104:23

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き



【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

```
F - 1:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
C - S814_CONSOLE  D - S814_CONSOLE  E - 5250 ディスプレイ  F - 1:5250 ディスプレイ  G - 1:5250 ディスプレイ
PTF のロード進行中
システム : E009C40T
ホ j^hn
ID      記述
(PTF ロード処理の進行中。 )
                                                                    終わり
MA*   F X SYSTEM      MW                                     01/001
172.16.0.104:23
```

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

※しばらくすると自動でIPLが実行されます。

④再起動後、ログインし、グループPTF状況の確認 ... WRKGRPPTFコマンド

PTF グループの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。

1= 発注 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示 10=PTF 適用情報の表示

OPT	PTF	グループ	0s^モ	状況
—	SF99876		1	導入済み
—	SF99875		2	導入済み
—	SF99731		4	導入済み
—	SF99730		16085	導入済み
—	SF99729		4	導入済み
—	SF99728		3	導入済み
—	SF99725		1	導入済み
—	SF99725		2	導入済み
—	SF99724		3	導入済み
—	SF99723		2	導入済み
—	SF99722		2	導入済み
—	SF99722		3	導入済み
—	SF99703		1	導入済み

続 <

F3= 終了 F6= 印刷 F11= 記述の表示 F12= 取り消し
F22= 全フィールドの表示

MA* A MW 08/002

172.16.0.100:2300

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

A - POWER720_CONSOLE

ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ

PTF グループの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。

1= 発注 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示 10=PTF 適用情報の表示

OPT	PTF グループ	テキスト
—	SF99876	HIGH AVAILABILITY FOR IBM I
—	SF99875	HARDWARE AND RELATED PTFS
—	SF99731	ALL PTF GROUPS EXCEPT CUMULATIVE PTF PACKAGE
—	SF99730	CUMULATIVE PTF PACKAGE C6085730
—	SF99729	GROUP HIPER
—	SF99728	GROUP SECURITY
—	SF99725	JAVA
—	SF99725	JAVA
—	SF99724	BACKUP RECOVERY SOLUTIONS
—	SF99723	PERFORMANCE TOOLS
—	SF99722	IBM HTTP SERVER FOR I
—	SF99722	IBM HTTP SERVER FOR I
—	SF99703	DB2 FOR IBM I

続く

F3= 終了 F6= 印刷 F11= 状況表示 F12= 取り消し F22= 全フィールドの表示

MA* A MW 08/002

172.16.0.100:2300

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

A - POWER720_CONSOLE

ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ

PTF グループの処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。

1= 発注 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示 10=PTF 適用情報の表示

OPT	PTF グループ	冊数	状況
—	SF99703	2	導入済み
—	SF99581	1	導入済み
—	SF99252	1	関連グループ

終わり

F3= 終了 F6= 印刷 F11= 記述の表示 F12= 取り消し
F22= 全フィールドの表示

MA* A MW 08/002

172.16.0.100:2300

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

A - POWER720_CONSOLE

ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ

PTF グループの処理 システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。

1= 発注 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 8= 特殊処理 PTF の表示
9= 関連 PTF グループの表示 10=PTF 適用情報の表示

OPT	PTF グループ	テキスト
—	SF99703	DB2 FOR IBM I
—	SF99581	WEBSHERE APP SERVER V8.5
—	SF99252	CONTENT MANAGER ONDEMAND FOR I - 5770-RD1 7.3

終わり

F3= 終了 F6= 印刷 F11= 状況表示 F12= 取り消し F22= 全フィールドの表示

MA* A MW 08/002

172.16.0.100:2300

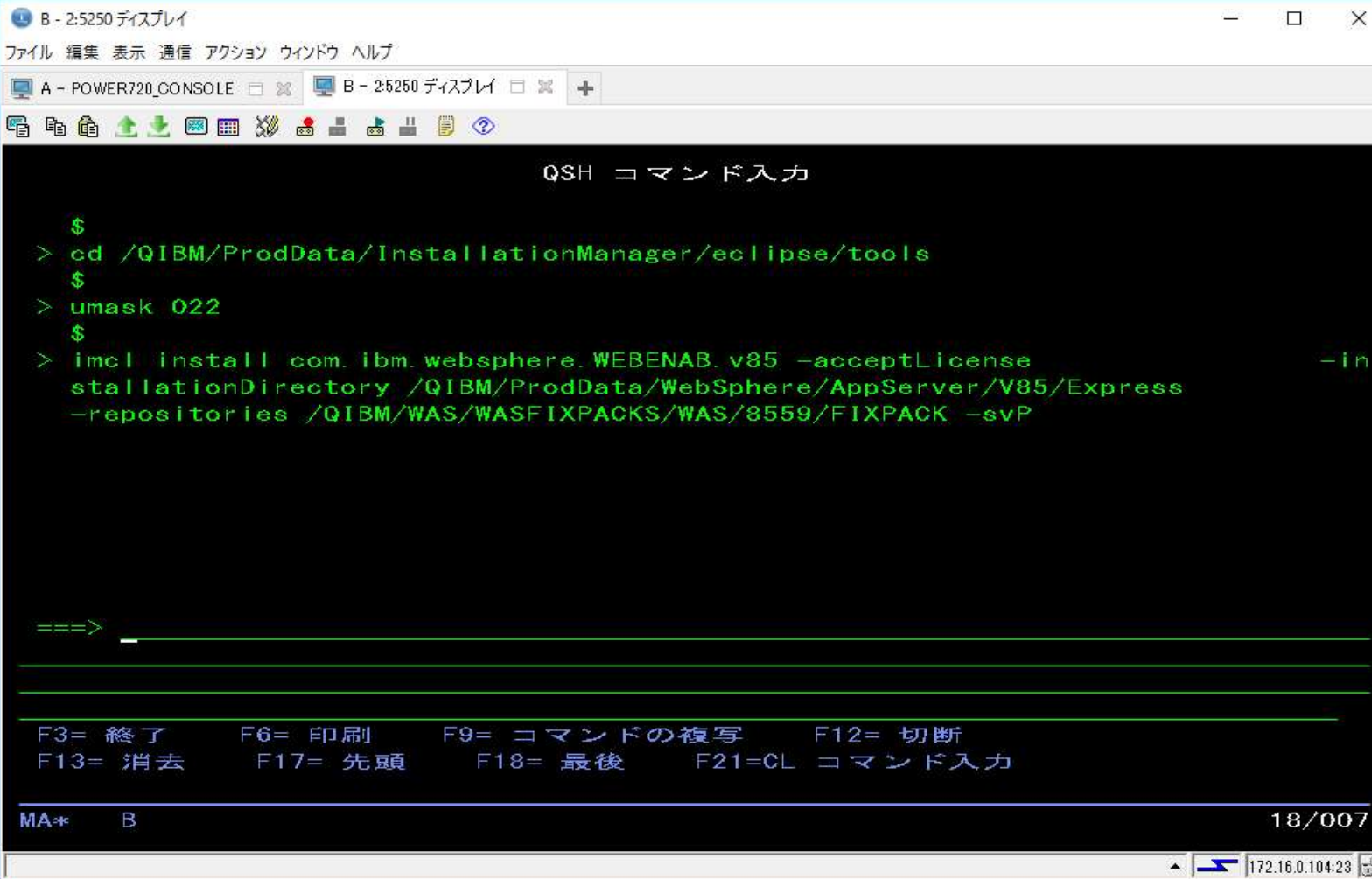
【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

⑤グループPTFの適用 ... STRQSHより

※例

```
imcl install com.ibm.websphere.WEBENAB.v85 -acceptLicense
-installationDirectory /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express
-repositories /QIBM/WAS/WASFIXPACKS/WAS/8559/FIXPACK -svP
```



```
QSH コマンド入力

$
> cd /QIBM/ProdData/InstallationManager/eclipse/tools
$
> umask 022
$
> imcl install com.ibm.websphere.WEBENAB.v85 -acceptLicense -in
installationDirectory /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express
-repositories /QIBM/WAS/WASFIXPACKS/WAS/8559/FIXPACK -svP

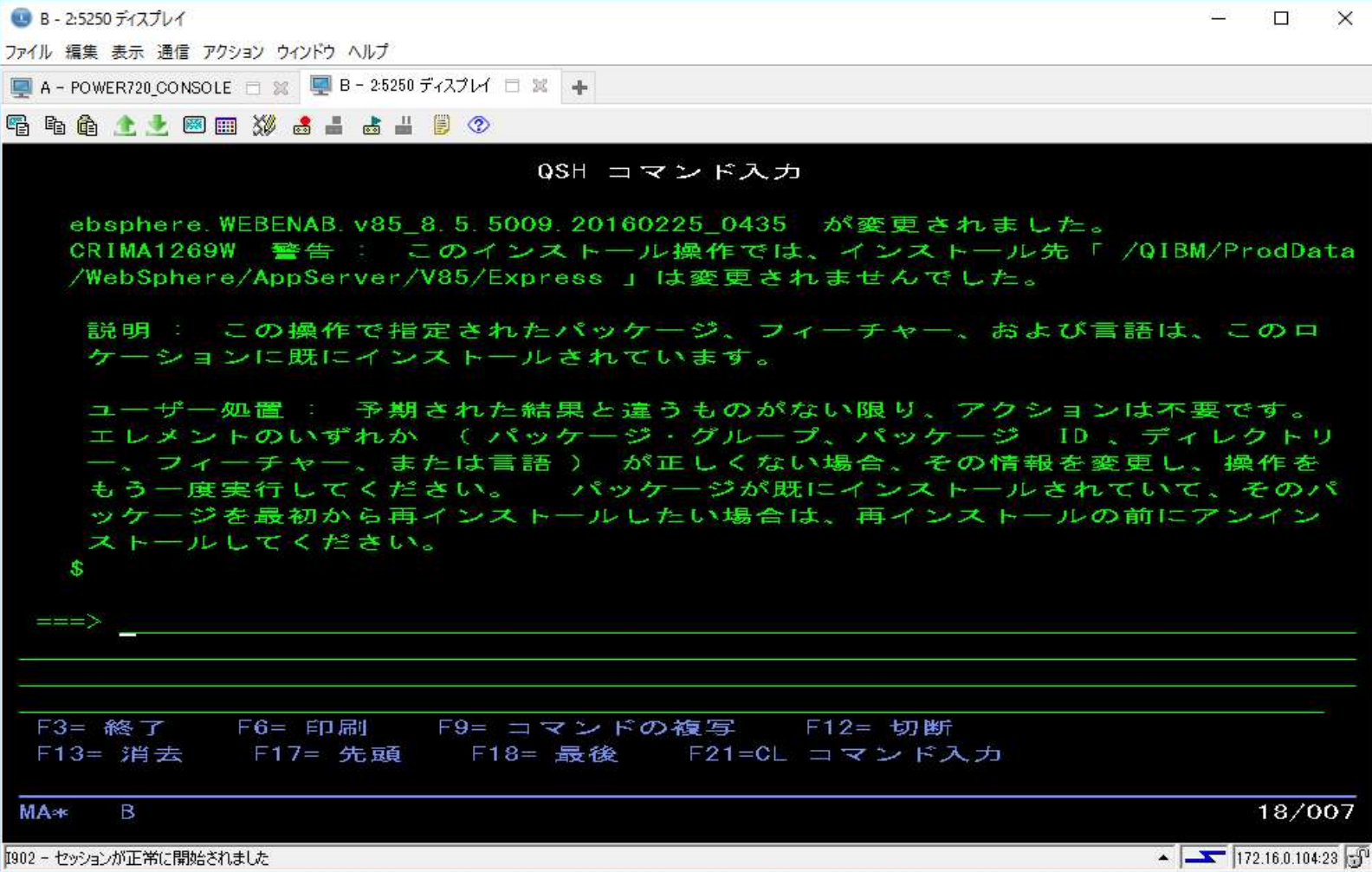
===>

F3= 終了      F6= 印刷      F9= コマンドの複写      F12= 切断
F13= 消去     F17= 先頭     F18= 最後      F21=CL コマンド入力

MA*  B 18/007
```

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き



The screenshot shows a terminal window titled "B - 2:5250 ディスプレイ". The window contains the following text:

```
QSH コマンド入力

ebsphere.WEBENAB.v85_8.5.5009.20160225_0435 が変更されました。
CRIMA1269W 警告 : このインストール操作では、インストール先「 /QIBM/ProdData
/WebSphere/AppServer/V85/Express 」は変更されませんでした。

説明 : この操作で指定されたパッケージ、フィーチャー、および言語は、このロ
ケーションに既にインストールされています。

ユーザー処置 : 予期された結果と違うものがない限り、アクションは不要です。
エレメントのいずれか（パッケージ・グループ、パッケージ ID、ディレクトリ
ー、フィーチャー、または言語）が正しくない場合、その情報を変更し、操作を
もう一度実行してください。 パッケージが既にインストールされていて、そのパ
ッケージを最初から再インストールしたい場合は、再インストールの前にアンイン
ストールしてください。
$
===> _____
_____
_____

F3= 終了      F6= 印刷      F9= コマンドの複写      F12= 切断
F13= 消去     F17= 先頭     F18= 最後      F21=CL コマンド入力

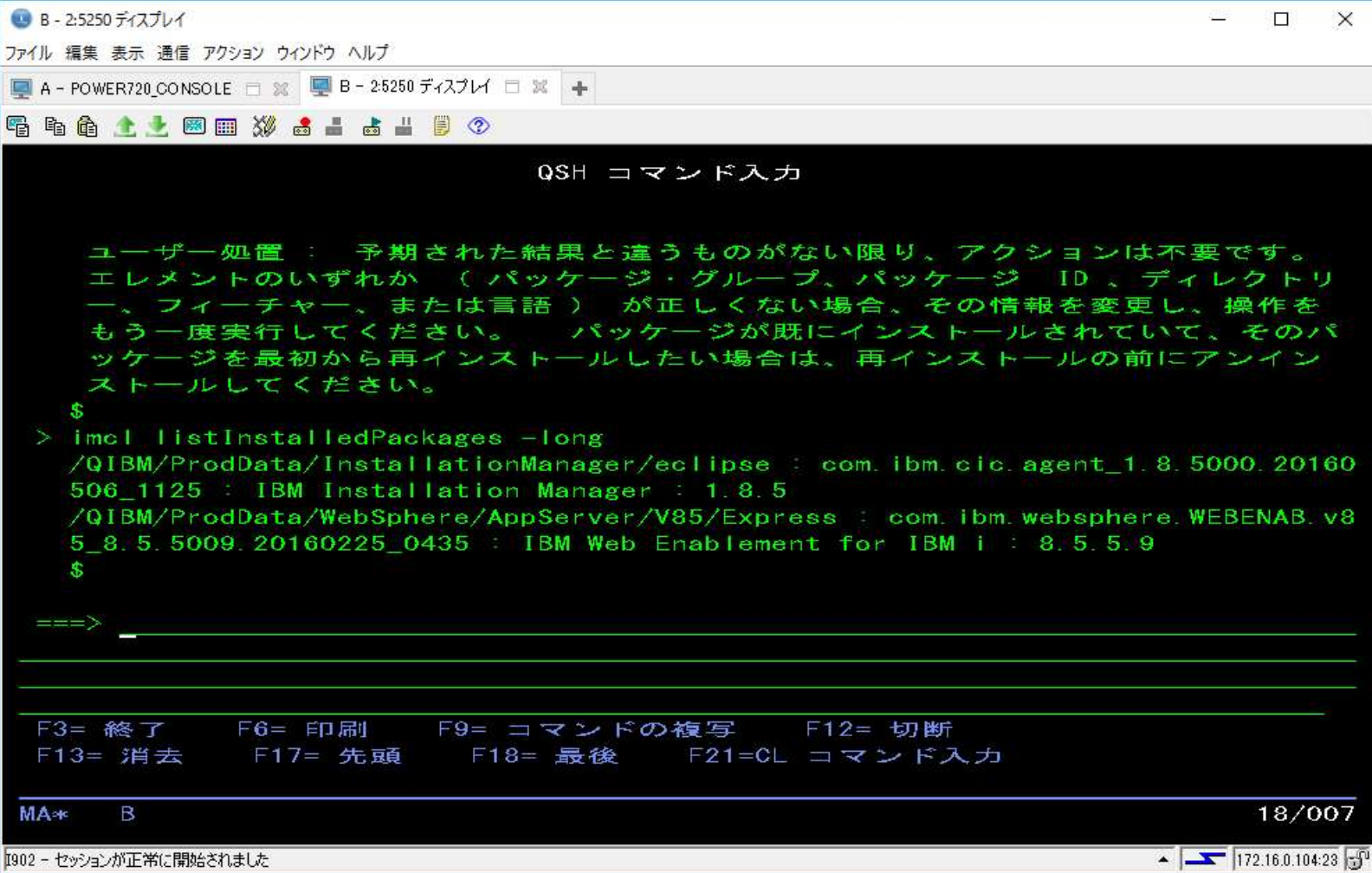
MA*      B                                          18/007
```

At the bottom of the terminal window, there is a status bar that reads: "1902 - セッションが正常に開始されました" and "172.16.0.104:23".

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

⑥完了後の確認 … IMとWASのバージョンを確認する。



```
B - 2:5250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
A - POWER720_CONSOLE B - 2:5250 ディスプレイ
QSH コマンド入力

ユーザー処置 :  予期された結果と違うものがない限り、アクションは不要です。
エレメントのいずれか ( パッケージ・グループ、パッケージ ID 、ディレクトリ
一、フィーチャー、または言語 ) が正しくない場合、その情報を変更し、操作を
もう一度実行してください。  パッケージが既にインストールされていて、そのパ
ッケージを最初から再インストールしたい場合は、再インストールの前にアンイン
ストールしてください。

$
> imcl listInstalledPackages -long
/QIBM/ProdData/InstallationManager/eclipse : com.ibm.cic.agent_1.8.5000.20160
506_1125 : IBM Installation Manager : 1.8.5
/QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express : com.ibm.websphere.WEBENAB.v8
5_8.5.5009.20160225_0435 : IBM Web Enablement for IBM i : 8.5.5.9
$

===> _____
_____
_____

F3= 終了      F6= 印刷      F9= コマンドの複写      F12= 切断
F13= 消去     F17= 先頭     F18= 最後       F21=CL コマンド入力

MA*  B 18/007
I902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23
```


【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

⑦ライセンス情報の確認 ... WRKLCINF 5733W85

ライセンス情報の処理 E009C40T
16/09/16 16:02:48

システム製造番号 : 069C40T
プロセッサ・グループ : P05

オプションを入力して、実行キーを押してください。
1= ライセンス・キーの追加 2= 変更 5= 明細の表示 6= 明細の印刷
8= ライセンス・ユーザーの処理 ...

OPT	ホワ*hn	[bネ]メ 条項	機能	記述
—	5733W85	V8	5101	WebSphere Application Server V85 Express
—	5733W85	V8	5102	WebSphere Application Server V85 (~Base~)
—	5733W85	V8	5103	WebSphere Application Server V85 Network D
—	5733W85	V8	5104	WebSphere Application Server V85 Network D
—	5733W85	V8	5105	WebSphere Application Server V85 Liberty C

終わり

パラメーターまたはコマンド
==>

F3= 終了 F5= 最新表示 F11= 使用情報の表示 F12= 取り消し F17= 位置指定
F23=eホ*ニ] 続き

(C) COPYRIGHT IBM CORP. 1980, 2015.

MA* B 12/002

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

⑧SQLジョブ(事前開始ジョブ)の構成変更 ... CHGPJEより

The screenshot shows a terminal window titled "B - 25250 ディスプレイ". The main content is the "事前開始ジョブ項目の変更 (CHGPJE)" utility. It prompts the user to "選択項目を入力して、実行キーを押してください。" (Enter the selected items and press the execution key).

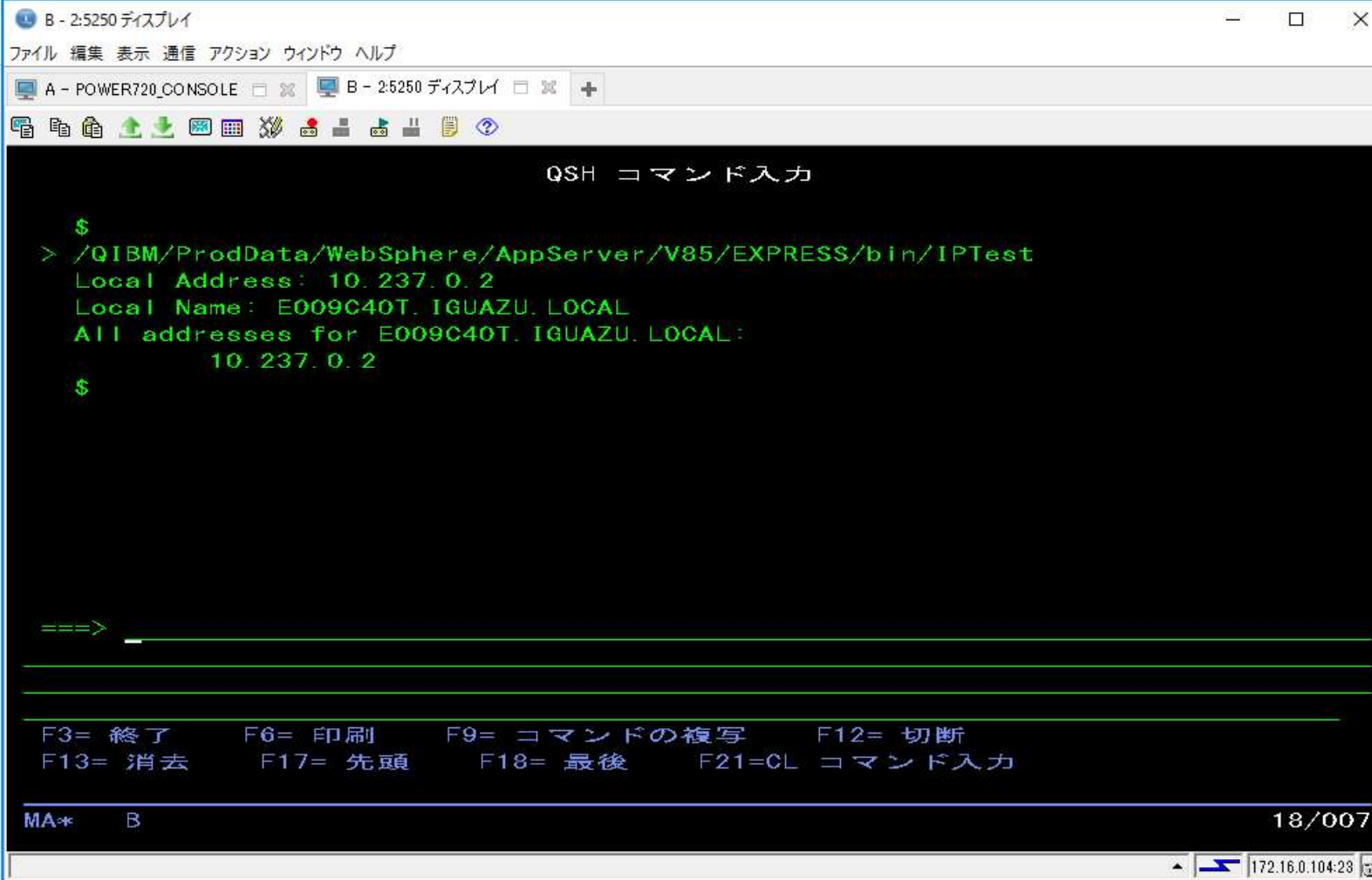
サブシステム記述	名前	名前
[bホ* [メー	> <u>QSYSWRK</u>	名前 . *LIBL, *CURLIB
プログラム	*LIBL	名前 . *LIBL, *CURLIB
[bホ* [メー	> <u>QSQSRVR</u>	名前 . *LIBL, *CURLIB
ユーザー・プロファイル	*LIBL	名前 . *SAME
ジョブ開始	*SAME	*SAME, *YES, *NO
初期ジョブ数	*SAME	1-9999, *SAME
しきい値	*SAME	1-9999, *SAME
追加のジョブ数	*SAME	0-999, *SAME
ジョブの最大数	> <u>*NOMAX</u>	1-32000, *SAME, *NOMAX

At the bottom, there are function key definitions: F3= 終了, F4=ホ* 7ホ* n, F5= 最新表示, F10= 追加のパラメーター, F12= 取り消し, F13= この画面の使用法, F24= キーの続き. The status bar shows "MA* B" and "05/037".

【WAS8.5のPTF導入】

WAS8.5のPTF導入の続き

⑨ホスト名および、IPアドレス情報の確認 ... STRQSHより



```
B - 25250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
A - POWER720_CONSOLE B - 25250 ディスプレイ
QSH コマンド入力

$
> /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/EXPRESS/bin/IPTest
Local Address: 10.237.0.2
Local Name: E009C40T.IGUAZU.LOCAL
All addresses for E009C40T.IGUAZU.LOCAL:
    10.237.0.2
$

===>

F3= 終了      F6= 印刷      F9= コマンドの複写  F12= 切断
F13= 消去     F17= 先頭     F18= 最後         F21=CL コマンド入力

MA* B 18/007
172.16.0.104:23
```

以上、

【WAS8.5の構成】

●WASの構成手順

※ブラウザはFirefoxをお勧めいたします。

①IBM Web Administrator for i より、「管理」→「すべてのサーバー」で「アプリケーション・サーバーの作成」より、構成を行う。

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console in a browser window. The address bar shows the URL `http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin`. The page title is "IBM Web Administration for i" and the breadcrumb navigation is "すべてのサーバー > HTTP サーバー > Application Server > インストール済み環境". The main content area is titled "アプリケーション・サーバーの作成" (Application Server Creation). It contains a description of the wizard and a list of steps:

- 製品および Installation Manager のインストール**
ウィザードは、サーバーの作成および構成に加えて、WebSphere Application Server バージョン 8.0 以上の製品に必要とされる製品および Installation Manager のインストールを処理します。WebSphere Application Server を新規の製品インストール済み環境に作成するには、製品パッケージが必要です。ウィザードは、WebSphere Application Server 製品をインストールする際に必要な IBM Installation Manager ツールのインストールとアップグレードも行います。
- ホスト経路指定の構成**
アプリケーションにアクセスするためには、ホストにマップする必要があります。ホストは、ホスト名または IP アドレスとポート番号によって定義されます。デフォルトでは、アプリケーションは、アプリケーション・サーバーに定義されたホストのデフォルト・リストを介してアクセスできるように構成されます。よりきめの細かい制御が必要な場合は、アプリケーションを特定のホストに対して構成することで、アプリケーションへのアクセスを制限することができます。
- アプリケーションのインストール**
アプリケーションをアクセス可能にするには、アプリケーション・サーバーにインストールする必要があります。「新規アプリケーションのインストール」ウィザードは、アプリケーションが含まれているアーカイブ・ファイルを取り出し、アプリケーションをサーバーに配置します。
- データベース接続のセットアップ**
多くのアプリケーションは、データを検索し、保管するのにデータベースにアクセスする必要があります。データベース・プロバイダーおよび接続は、データベースへのアクセス方法、アクセスするデータベース、およびデータベースが存在する場所をサーバーに伝えるために使用される手段です。

At the bottom of the wizard, there are navigation buttons: "戻る" (Back), "次へ" (Next), and "キャンセル" (Cancel).

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

②「V8.5.5.9 EXPRESS」を選択後、「次へ」を選択。

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'IBM Web Administration for i'. The navigation menu includes 'セットアップ', '管理', '拡張', and '関連したリンク'. The main content area is titled 'アプリケーション・サーバーの作成' (Application Server Creation) and contains the following text:

アプリケーション・サーバーのバージョンおよびタイプの指定

このシステムには複数のバージョンおよびタイプのアプリケーション・サーバーがインストールされています。WebSphere Application Server バージョン 8.0 以上の場合、既存のインストール済み環境にサーバーを作成するか、新規に WebSphere Application Server をインストールするかを選択できます。これには、製品パッケージがこのローカル・システムまたはリモート・システム上に存在する必要があります。このウィザードは、この新しいインストール済み環境を使用したサーバーの作成と構成に加えて、インストール手順も処理します。

作成するアプリケーション・サーバーのタイプを選択します

IBM integrated Web application server for i:

V8.5

WebSphere Application Server:

新規インストール WebSphere Application Server V8.5.5.9 Express, により、全機能をもつ J2EE™ 準拠アプリケーション・サーバーを使用する Web アプリケーションに広範囲の複雑なビジネス論理を追加できます。

V8.5.5.9 Express

このシステムの複数の場所に WebSphere Application Server V8.5.5.9 Express をインストールできます。各インストール済み環境から複数のアプリケーション・サーバーを作成できます。このインストール済み環境に対するプロダクト・インストール・パスは /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express です。

At the bottom of the page, there are three buttons: '戻る' (Back), '次へ' (Next), and 'キャンセル' (Cancel).

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き


③「次へ」を選択。

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays `http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin`. The page title is "WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成". The main content area shows the "Application Server Name" field with the value "WAS85SVR" and the "Server Description" field with the text "[アプリケーション・サーバーの作成]ウィザードによって". At the bottom of the page, there are three buttons: "戻る", "次へ", and "キャンセル".

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

④「次へ」を選択。



The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成'. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- ▼ 共通タスクおよびウィザード
 - Web Services サーバーの作成
 - HTTP サーバーの作成
 - アプリケーション・サーバーの作成

The main content area displays the 'HTTP サーバー・タイプの選択' step. Below the title, there is a descriptive paragraph: 'アプリケーション・サーバーは、外部 HTTP サーバーと関連付けることができます。選択すると、ウィザードは必要な情報を使用して外部 HTTP サーバーを設定し、着信 URL 要求をこのアプリケーション・サーバーに経路指定します。' Below this, the 'HTTP サーバー・タイプの選択' section contains three radio button options:

- 新規 HTTP サーバー (powered by Apache) の作成
- 既存の HTTP サーバー (powered by Apache) の選択
- 外部 HTTP サーバーをこのアプリケーション・サーバーに関連付けない

At the bottom of the page, there are three buttons: '戻る', '次へ', and 'キャンセル'.

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

⑤「ポート」を指定して、「次へ」を選択。

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成'. The main content area shows the configuration steps for creating a new HTTP server. The 'HTTP サーバー名' (HTTP Server Name) is set to 'WEBSERVER'. The 'HTTP サーバー記述' (HTTP Server Description) is '「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって'. The 'HTTP サーバーは、システムの特定の IP アドレスで、あるいはシステムのすべての IP アドレスで要求を listen することができます。' (HTTP server can listen on a specific IP address or all IP addresses of the system.) section is visible. The 'HTTP サーバーにどの IP アドレスおよび TCP ポートで listen させたいですか?' (Which IP address and TCP port do you want to listen on for the HTTP server?) section has 'IP アドレス' (IP Address) set to 'すべての IP アドレス' (All IP addresses) and 'ポート' (Port) set to '10000'. A note below states: '注：ほとんどのブラウザは、デフォルトでポート 80 に要求を出します。' (Note: Most browsers request port 80 by default.) At the bottom, there are three buttons: '戻る' (Back), '次へ' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ' button is highlighted.

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

⑥「次へ」を選択。

IBM Web Administration for i
セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

▼ 共通タスクおよびウィザード
■ Web Services サーバーの作成
■ HTTP サーバーの作成
■ アプリケーション・サーバーの作成

WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成

アプリケーション・サーバーで使用する内部ポートの指定

アプリケーション・サーバーは、内部 HTTP トランスポート・サービス、Simple Object Access Protocol (SOAP) サービス、ネーム・サービス、および処理を実行するための他のサービスなど、いくつかの内部サービスを使用します。これらのサービスを構成するには、システムで現在使用されていない一連の 20 個の連続ポートを指定する必要があります。範囲内の最初の TCP ポート番号を指定してください。ウィザードから、各内部サービスによって使用されるポートが割り当てられます。例えば範囲内の最初のポートとして 10001 を入力した場合には、10001 から 10020 のポートが構成されます。

範囲内の最初のポート:

戻る 次へ キャンセル

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

⑦「次へ」を選択。

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

⑧「次へ」を選択。

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成'. The main content area contains the following text:

WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成
Web 経由で IBM i にアクセスするように ID トークン SSO を構成

ID トークン SSO は、1 回のユーザー・サインオン・アクションで複数の IBM i システムへのアクセスが許可されるメカニズムです。これにより、追加認証のプロンプトが出されることなく、Web ベースのインターフェースから IBM i バックエンド・アプリケーションにアクセスできるようになります。ID トークンは、エンタープライズ識別マッピング (EIM) を使用して実装されます。EIM は、Web ユーザーと IBM i ユーザー・プロファイルの間の関係を維持します。アプリケーション・サーバーは、この EIM ドメインで ID トークンをサポートするために構成されるサーバーのトークンを作成します。

注: EIM は、LDAP サーバーでホストされます。続行する前に、LDAP サーバーを構成して実行する必要があります。

ID トークンの構成: ?

ID トークンを構成しません

ID トークンを構成します

At the bottom of the page, there are three buttons: '戻る' (Back), '次へ' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ' button is highlighted with a blue border.

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

※「アプリケーション・サーバー」、「HTTPサーバー」タブ内容を確認する。

IBM Web Administration for i
セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー HTTP サーバー | Application Server | インストール済み環境

▼ 共通タスクおよびウィザード
Web Services サーバーの作成
HTTP サーバーの作成
アプリケーション・サーバーの作成

WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成

要約

「完了」をクリックすると、この WebSphere Application Server が作成されます。

アプリケーション・サーバー HTTP サーバー

WAS バージョン: 8.5.5.9 Express
アプリケーション・サーバー名: WAS85SVR
サーバー記述: 「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された WebSphere Application Server。
内部ポート範囲: 10001 - 10020
仮想ホスト: default_host
プロファイル・ルート: /QIBM/UserData/WebSphere/AppServer/V85/EXPRESS/profiles
外部 HTTP サーバー関連: WEBSEVER
サーバー URL: http://E009C40T:10000
ビジネス・アプリケーション: なし
サンプル・アプリケーション:

アプリケーション名	アプリケーションにアクセスする URL
照会	EJB クライアント・アプリケーションによる使用
デフォルト・アプリケーション	http://E009C40T:10000/snoop
	http://E009C40T:10000/hitcount
	http://E009C40T:10000/hello

メモ: 選択したアプリケーションにアクセスするには、アプリケーション・サーバーおよび HTTP サーバーの両方を始動し、上のテーブルにある URL を入力してください。

戻る 完了 キャンセル

印刷可能な要約

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

⑨確認後、「完了」を押下。

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'WebSphere Application Server - Express V8.5.5.9 の作成'. The main content area shows a summary of the configuration for the 'HTTP サーバー' (HTTP Server). The summary includes the following details:

- HTTP サーバー名: WEBSERVER
- HTTP サーバー記述: 「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された HTTP サーバー。
- ポート: 10000
- 文書ルート: /www/webserver/htdocs
- サーバー・ルート: /www/webserver
- 現行アプリケーション・サーバー関連: なし
- 新規アプリケーション・サーバー関連: WAS85SVR, V8.5 Express

At the bottom of the page, there are three buttons: '戻る' (Back), '完了' (Finish), and 'キャンセル' (Cancel). A '印刷可能な要約' (Printable Summary) link is also visible in the bottom right corner.

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

※ステータスが「作業中」になります

IBM Web Administration for i
セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク
すべてのサーバー | HTTP サーバー Application Server インストール済み環境
作成中 サーバー: WAS85SVR/WAS85SVR - V8.5 Express

WebSphere Application Server - V8.5.5.9 Express の管理
プロファイル WAS85SVR サーバー: WAS85SVR
プロダクト・インストール・パス: /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express

「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された WebSphere Application Server。

サーバー "WAS85SVR/WAS85SVR" は作成処理中です。状況を更新するには、上の「最新表示」アイコンをクリックしてください。

追加の仮想ホストの作成
このアプリケーション・サーバーにはデフォルトの仮想ホスト "default_host" が作成されています。しかし、どの URI がどのアプリケーションを実行できるかについてさらに制御するために、追加の仮想ホストを指定することができます。

新規アプリケーションのインストール
サーバーおよび仮想ホストの作成が終わると、次にアプリケーションをインストールすることができます。

データ・ソースの作成
次にシステムがアプリケーションのデータにアクセスするために使用するリソースを定義します。

注: 状況を更新するには、クリックしてください 最新表示

【WAS8.5の構成】

WAS8.5の構成の続き

※しばらくすると、ステータスが「作業中」から「停止済み」に変わり構成が完了。

IBM Web Administration for i
セットアップ 管理 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー Application Server インストール済み環境

停止済み 停止済み サーバー: WAS85SVR/WAS85SVR - V8.5 Express

WebSphere Application Server - V8.5.5.9 Express の管理

プロファイル WAS85SVR サーバー: WAS85SVR
プロダクト・インストール・パス: /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express

「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された WebSphere Application Server。

追加の仮想ホストの作成
このアプリケーション・サーバーにはデフォルトの仮想ホスト "default_host" が作成されています。しかし、どの URI がどのアプリケーションを実行できるかについてさらに制御するために、追加の仮想ホストを指定することができます。

新規アプリケーションのインストール
サーバーおよび仮想ホストの作成が終わると、次にアプリケーションをインストールすることができます。

データ・ソースの作成
次にシステムがアプリケーションのデータにアクセスするために使用するリソースを定義します。

仮想ホストの管理	インストール済みアプリケーションの管理	データ・ソースの管理
<ul style="list-style-type: none">default_hostadmin_host	<ul style="list-style-type: none">DefaultApplicationqueryivtApp	<ul style="list-style-type: none">DefaultEJBTimerDataSourceDefault DataSource

注: 状況を更新するには、クリックしてください

以上

【WAS8.5の起動確認】

●WASの起動および、サンプル・アプリケーションの稼働確認手順

①作成されたアプリケーション・サーバーを起動(上部の開始マークをクリック)

The screenshot shows the IBM Web Administration console for a WebSphere Application Server. The browser address bar shows `http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin`. The page title is "WebSphere Application Server - V8.5.5.9 Express の管理". The main content area features a progress bar with three steps: "追加の仮想ホストの作成", "新規アプリケーションのインストール", and "データ・ソースの作成". Below the progress bar, there is a table showing the current configuration of the server.

仮想ホストの管理	インストール済みアプリケーションの管理	データ・ソースの管理
<ul style="list-style-type: none">default_hostadmin_host	<ul style="list-style-type: none">DefaultApplicationqueryivtApp	<ul style="list-style-type: none">DefaultEJBTimerDataSourceDefault Datasource

注: 状況を更新するには、クリックしてください [最新表示](#)

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

②「始動」を押下。

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console. The browser address bar displays `http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin`. The page title is "IBM Web Administration for i" with navigation tabs for "セットアップ", "管理", "拡張", and "関連したリンク". The main content area is titled "Application Server" and shows the server "WAS85SVR/WAS85SVR - V8.5 Express". The "開始: WAS85SVR/WAS85SVR" wizard is active, with instructions in Japanese: "「開始」ウィザードへようこそ。このウィザードは、この Web 環境に関連付けられているすべてのコンポーネントの開始に役立ちます。開始したい項目を選択します。以下のアプリケーション・サーバーが開始されます。" Below this, there are two checked items: "WAS85SVR/WAS85SVR" and "WEBSERVER". A note states: "ローカル・システムの以下の HTTP サーバーには、このアプリケーション・サーバーが関連付けられています。" At the bottom of the wizard, there are "始動" (Start) and "キャンセル" (Cancel) buttons. The left sidebar contains a tree view of navigation options, including "共通タスクおよびウィザード", "WAS ウィザード", "サーバー・プロパティ", "アプリケーション", "リソース構成", "Web パフォーマンス", "問題判別", and "ツール".

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

※ステータスが「停止済み」から「開始中」に変わる

IBM Web Administration for i
セットアップ | 管理 | 拡張 | 関連したリンク

すべてのサーバー | HTTP サーバー | **Application Server** | インストール済み環境

開始中 | サーバー: WAS85SVR/WAS85SVR - V8.5 Express

WebSphere Application Server - V8.5.5.9 Express の管理
プロファイル WAS85SVR | サーバー: WAS85SVR
プロダクト・インストール・パス: /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express

「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された WebSphere Application Server.

追加の仮想ホストの作成
このアプリケーション・サーバーにはデフォルトの仮想ホスト "default_host" が作成されています。しかし、どの URI がどのアプリケーションを実行できるかについてさらに制御するために、追加の仮想ホストを指定することができます。

新規アプリケーションのインストール
サーバーおよび仮想ホストの作成が終わると、次にアプリケーションをインストールすることができます。

データ・ソースの作成
次にシステムがアプリケーションのデータにアクセスするために使用するリソースを定義します。

仮想ホストの管理	現在の構成 プロファイル: "WAS85SVR" サーバー: "WAS85SVR"	インストール済みアプリケーションの管理	データ・ソースの管理
<input checked="" type="checkbox"/> default_host <input checked="" type="checkbox"/> admin_host		<input checked="" type="checkbox"/> DefaultApplication <input checked="" type="checkbox"/> query <input checked="" type="checkbox"/> ivtApp	<input checked="" type="checkbox"/> DefaultEJBTimerDataSource <input checked="" type="checkbox"/> Default Datasource

注: 状況を更新するには、クリックしてください 最新表示

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

※しばらくすると、ステータスが「開始中」から「実行中」に変わる

The screenshot shows the IBM Web Administration console for a WebSphere Application Server (WAS8.5SVR/WAS85SVR - V8.5 Express). The status is '実行中' (Running). The main content area is titled 'WebSphere Application Server - V8.5.5.9 Express の管理' and shows the profile 'WAS85SVR' on server 'WAS85SVR'. Below this, there are three sections with icons: '追加の仮想ホストの作成' (Create additional virtual hosts), '新規アプリケーションのインストール' (Install new application), and 'データ・ソースの作成' (Create data source). A table below these sections shows the current configuration for the profile:

仮想ホストの管理	インストール済みアプリケーションの管理	データ・ソースの管理
<ul style="list-style-type: none">default_hostadmin_host	<ul style="list-style-type: none">DefaultApplicationqueryivtApp	<ul style="list-style-type: none">DefaultJBTimerDataSourceDefault Datasource

注: 状況を更新するには、クリックしてください

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

③5250画面より、サブシステムのHTTPサーバーの稼働状況確認

活動ジョブ処理 E009C40T

16/09/20 12:31:33 JST

CPU % : 12.1 経過時間 : 01:18:42 活動ジョブ : 196

オプションを入力して、実行キーを押してください。
2= 変更 3= 保留 4= 終了 5= 処理 6= 解放 7= メッセージ表示
8=スホーモ、ホヲモ の処理 13= 切断 ...

OPT	ナホ [*] ニヌmw/ニ [*] ュホ [*]	マ [*] ナ [*] ー	jbホ [*]	CPU %	機能	状況
—	QHTTPSVR	QSYS	SBS	.0		DEQW
—	ADMIN	QTMHHTTP	BCH	.0	PGM-QZHBMAIN	SIGW
—	ADMIN	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRLOG	SIGW
—	ADMIN	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRHTTP	SIGW
—	ADMIN	QSECOFR	BCI	.0	PGM-QZSRCGI	TIMW
—	ADMIN1	QLWISVR	BCI	.0	JVM-/qibm/prod	THDW
—	ADMIN2	QLWISVR	BCI	.2	JVM-/qibm/prod	THDW
—	ADMIN3	QLWISVR	BCI	.0	JVM-/qibm/prod	THDW
—	ADMIN4	QWEBADMIN	BCI	.6	JVM-/qibm/prod	THDW

続く ...

パラメーターまたはコマンド
==>

F3= 終了 F5= 最新表示 F7= 検索 F10= 統計の再開 F11= 経過データの表示
F12= 取り消し F17= 先頭 F18= 最後 F23=eホ^{*} ニ] 続き F24= キーの続き

MA* B 10/002

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

活動ジョブ処理 E009C40T

16/09/20 12:31:33 JST

CPU %: 12.1 経過時間: 01:18:42 活動ジョブ: 196

オプションを入力して、実行キーを押してください。
2= 変更 3= 保留 4= 終了 5= 処理 6= 解放 7= メッセージ表示
8=スホーモ、ホヲホモ の処理 13= 切断 ...

OPT	ナホ [*] ニヌmw/ニ [*] ュホ [*]	マ [*] ナ [*] ー	jbホ [*]	CPU %	機能	状況
—	ADMIN5	QLWISVR	BCI	.0	JVM-/qibm/prod	THDW
—	WEBSERVER	QTMHHTTP	BCH	.0	PGM-QZHBMAIN	SIGW
—	WEBSERVER	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRLOG	SIGW
—	WEBSERVER	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRLOG	SIGW
—	WEBSERVER	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRHTTP	SIGW
—	WEBSERVER	QTMHHTTP	BCI	.0	PGM-QZSRHTTP	DEQW

終わり

パラメーターまたはコマンド
==>

F3= 終了 F5= 最新表示 F7= 検索 F10= 統計の再開 F11= 経過データの表示
F12= 取り消し F17= 先頭 F18= 最後 F23=eホ^{*} ニ] 続き F24= キーの続き

MA* B 10/002

1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

④5250画面より、サブシステムのWAS8.5の稼働状況確認

The screenshot shows a terminal window titled "B - 25250 ディスプレイ". The main content is a green-on-black display for "活動ジョブ処理" (Active Job Processing). It shows a CPU usage of 0% and 196 active jobs. A table lists the current jobs: QWAS85 (DEQW) and WAS85SVR (THDW). The terminal also includes instructions for various function keys (F3-F24) and a status bar at the bottom indicating "10/002" and "172.16.0.104:23".

```
活動ジョブ処理 E009C40T
16/09/20 12:36:41 JST
CPU %: .0 経過時間 : 00:00:00 活動ジョブ : 196

オプションを入力して、実行キーを押してください。
2= 変更 3= 保留 4= 終了 5= 処理 6= 解放 7= メッセージ表示
8=メモリー、メモリーの処理 13= 切断 ...

      現行
OPT   ナホニヌmw/ニユホ マナー     jホ CPU % 機能          状況
---   QWAS85             QSYS     SBS   .0      機能          DEQW
---   WAS85SVR           QEJBSVR  BCH   .0      PGM-jvmStartPa THDW

                                                                終わり

パラメーターまたはコマンド
==>
F3= 終了   F5= 最新表示  F7= 検索   F10= 統計の再開  F11= 経過データの表示
F12= 取り消し  F17= 先頭   F18= 最後  F23=メモリー] 続き  F24= キーの続き

MA*  B 10/002
1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23
```

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

⑤5250画面にて、NETSTAT *CNNコマンドより、ポート番号:10000が稼働していることを確認

IPV4 接続状況の処理

システム : E009C40T

オプションを入力して、実行キーを押してください。
3= デバッグ使用可能 4= 終了 5= 詳細の表示 6= デバッグ使用不可
8= ジョブの表示

OPT	xy-n an ^o ロヌ	xy-n t ^o -n	ワ-fモ t ^o -n	abn ^o モ 時間	状態
—	*	*	as-netd >	092:07:24	接続待機
—	*	*	as-tran >	092:06:28	接続待機
—	*	*	as-vrtp >	092:06:28	接続待機
—	*	*	10000	000:08:12	接続待機
—	*	*	10001	000:08:12	接続待機
—	*	*	10002	000:13:08	接続待機
—	*	*	10003	000:13:08	接続待機
—	*	*	10004	000:13:08	接続待機
—	*	*	10005	000:13:43	接続待機
—	*	*	10006	000:08:54	接続待機
—	*	*	10011	000:13:44	接続待機
—	*	*	16324	091:59:46	接続待機

続く ...

F3= 終了 F5= 最新表示 F9= コマンド入力行 F11= バイト・カウントの表示
F12= 取り消し F20= IPV6 接続の処理 F24= キーの続き

MA* B 09/003

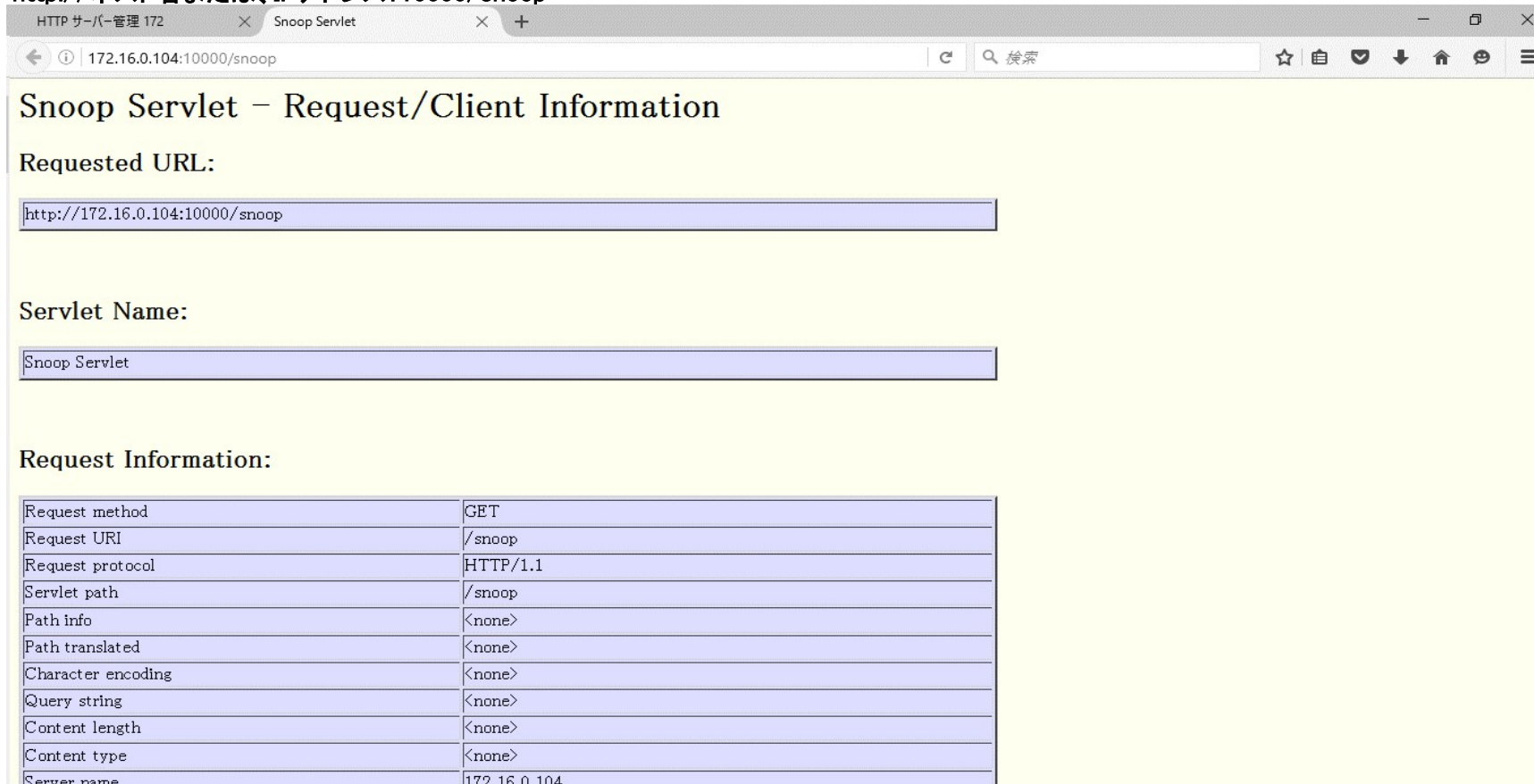
1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

⑥ブラウザでHTTPサーバーより、サンプル・アプリケーションの表示確認をする。

http://ホスト名または、IPアドレス:10000/snoop



The screenshot shows a web browser window with the following content:

- Browser tabs: HTTPサーバー管理 172, Snoop Servlet
- Address bar: 172.16.0.104:10000/snoop
- Page title: Snoop Servlet – Request/Client Information
- Section: Requested URL:
Text box: http://172.16.0.104:10000/snoop
- Section: Servlet Name:
Text box: Snoop Servlet
- Section: Request Information:
Table with 2 columns: Request attribute and Value.

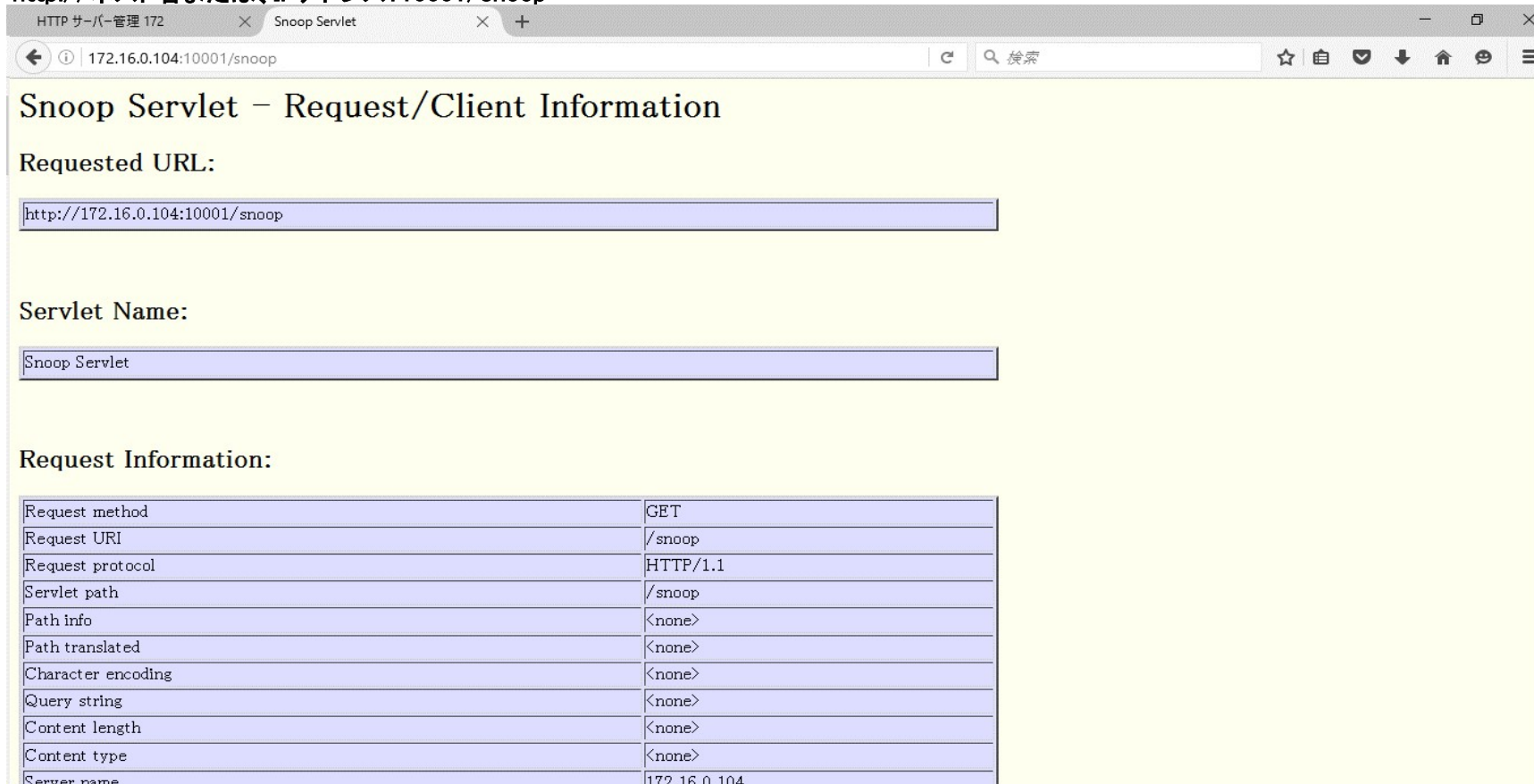
Request method	GET
Request URI	/snoop
Request protocol	HTTP/1.1
Servlet path	/snoop
Path info	<none>
Path translated	<none>
Character encoding	<none>
Query string	<none>
Content length	<none>
Content type	<none>
Server name	172.16.0.104

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

⑦ブラウザでWASアプリケーション・サーバーより、サンプル・アプリケーションの表示確認をする。

http://ホスト名または、IPアドレス:10001/snoop



The screenshot shows a web browser window with the following content:

- Browser tabs: HTTP サーバー管理 172, Snoop Servlet
- Address bar: 172.16.0.104:10001/snoop
- Page title: Snoop Servlet – Request/Client Information
- Section: Requested URL:
Text box: http://172.16.0.104:10001/snoop
- Section: Servlet Name:
Text box: Snoop Servlet
- Section: Request Information:
Table with 2 columns: Request attribute and Value

Request attribute	Value
Request method	GET
Request URI	/snoop
Request protocol	HTTP/1.1
Servlet path	/snoop
Path info	<none>
Path translated	<none>
Character encoding	<none>
Query string	<none>
Content length	<none>
Content type	<none>
Server name	172.16.0.104

【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

⑧ブラウザでWASアプリケーション・サーバーより、コンソール画面の表示確認し、ユーザーIDなしでログインボタン押下。

http://ホスト名または、IPアドレス:10002/admin



【WAS8.5の起動確認】

WAS8.5の起動確認の続き

ようこそ

Integrated Solutions Console は、複数の製品用の共通管理コンソールを提供します。このコンソールを使用して管理できる製品スイートは以下のとおりです。詳しい情報については、製品スイートを選択してください。

スイート名	バージョン
WebSphere Application Server	8.5.5.9

Integrated Solutions Console について

Integrated Solutions Console,
8.5.5.9
ビルド番号: cf091608.05
ビルド日: 2/25/16

LICENSED MATERIALS PROPERTY OF
IBM
5724-J08, 5724-163,

以上

【(補足)WAS構成削除】

●WASアプリケーション・サーバーの構成削除手順

※WASアプリケーション・サーバーが開始されていたら、停止する。

①IBM Web Administrator for i より、「管理」-「すべてのサーバー」で削除対象のアプリケーション・サーバーを選択し、「削除」ボタンを押下。

The screenshot shows the IBM Web Administration for i interface. The main content area is titled 'すべてのサーバーの管理' and contains a table of servers. The table has the following columns: 'サーバー', 'バージョン', '状況', 'アドレス:ポート', and '記述'. The data rows are as follows:

サーバー	バージョン	状況	アドレス:ポート	記述
<input type="radio"/> Admin2	V8.5 (int app svr)	実行中	*:2004,2005	
<input type="radio"/> Admin3	V8.5 (int app svr)	実行中	*:2006	
<input type="radio"/> Admin5	V8.5 (int app svr)	実行中	*:2011	
<input checked="" type="radio"/> WAS85SVR/WAS85SVR	V8.5.5.9 Express	停止済み	*:10001,10002,10003,10004,10005,10006,10017,10018	「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された WebSphere Applic
<input type="radio"/> WQLIB85	V8.5 (int app svr)	停止済み	*:12336	

At the bottom of the table, there are several control buttons: '最新表示', '始動', '停止', '再始動', '詳細の管理', '削除', and '名前変更'.

【(補足)WAS構成削除】

(補足)WAS構成削除の続き

②該当のアプリケーション・サーバーとHTTPサーバーが選択されていることを確認し、「次へ」を選択。

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays "172.16.0.104:2001/HTTPAdmin". The page title is "IBM Web Administration for i". The main content area is titled "削除: WAS85SVR" (Delete: WAS85SVR). Below the title, there is a message: "「削除」ウィザードへようこそ。このウィザードは、この Web 環境に関連付けられているすべてのコンポーネントの削除に役立ちます。" (Welcome to the "Delete" wizard. This wizard helps with deleting all components associated with this Web environment). A prompt asks to select items to delete: "削除したい項目を選択します。" (Select items to delete). Below this, a list of application servers is shown, with "WAS85SVR/WAS85SVR" selected (indicated by a checkmark). A message states: "ローカル・システムの以下の HTTP サーバーには、このアプリケーション・サーバーが関連付けられています。" (The following HTTP servers on the local system are associated with this application server). Below this, "WEBSERVER" is selected with a checkmark. A section titled "次の製品をローカル・システムから削除します:" (Delete the following products from the local system:) shows "WebSphere Application Server V8.5 Express - /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express" with an unchecked checkbox. At the bottom of the page, there are three buttons: "戻る" (Back), "次へ" (Next), and "キャンセル" (Cancel).

【(補足)WAS構成削除】

(補足)WAS構成削除の続き

③削除ボタンを押下する … 状況が「削除中」となり、しばらく掛ります

The screenshot shows the IBM Web Administration console interface. The browser address bar displays '172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'IBM Web Administration for i'. The main content area is titled '削除: WAS85SVR' (Delete: WAS85SVR) and includes a '要約' (Summary) section. A '削除' (Delete) button is visible. Below the button, a warning message states: '「削除」ボタンをクリックすると、下のリストにあるコンポーネントは削除されます。この操作は、取り消すことができません。' (Clicking the 'Delete' button will delete the components listed below. This operation cannot be undone.) The components to be deleted are listed as follows:

- アプリケーション・サーバー:
 - WAS85SVR/WAS85SVR
- HTTP サーバー:
 - WEBSERVER
- 製品:
 - なし

At the bottom of the page, there are buttons for '戻る' (Back), '削除' (Delete), and 'キャンセル' (Cancel). A '印刷可能な要約' (Printable Summary) button is also present on the right side.

【(補足)WAS構成削除】

(補足)WAS構成削除の続き

④最新表示ボタンを押下し、削除されていることを確認。

The screenshot shows the IBM Web Administration console for HTTP servers. The main content area displays a table of servers with the following data:

サーバー	バージョン	状況	アドレス:ポート	記述
<input type="radio"/> Admin2	V8.5 (int app svr)	実行中	*:2004,2005	
<input type="radio"/> Admin3	V8.5 (int app svr)	実行中	*:2006	
<input type="radio"/> Admin5	V8.5 (int app svr)	実行中	*:2011	
<input checked="" type="radio"/> WAS85SVR/WAS85SVR	不明	削除中	不明	「アプリケーション・サーバーの作成」ウィザードによって作成された WebSphere Application Server。
<input type="radio"/> WQLIB85	V8.5 (int app svr)	停止済み	*:12336	

At the bottom of the table, there are several control buttons: '最新表示' (Refresh), '始動' (Start), '停止' (Stop), '再始動' (Restart), '詳細の管理' (Advanced Management), '削除' (Delete), and '名前変更' (Rename).

【(補足)WAS構成削除】

(補足)WAS構成削除の続き

※アプリケーション・サーバーとHTTPサーバーから削除されています

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console. The browser address bar displays '172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'IBM Web Administration for i'. The main content area is titled 'すべてのサーバーの管理' (Management of all servers). Below this, there are two tabs: 'すべてのHTTPサーバー' (All HTTP servers) and 'すべてのアプリケーションサーバー' (All application servers). The 'すべてのHTTPサーバー' tab is active, showing a table of server data as of 2016/09/21 10:08:40. The table has columns for 'サーバー' (Server), 'バージョン' (Version), '状況' (Status), 'アドレス:ポート' (Address:Port), and '記述' (Description). The data rows are as follows:

サーバー	バージョン	状況	アドレス:ポート	記述
<input type="radio"/> Admin2	V8.5 (int app svr)	● 実行中	*:2004,2005	
<input type="radio"/> Admin3	V8.5 (int app svr)	● 実行中	*:2006	
<input type="radio"/> Admin5	V8.5 (int app svr)	● 実行中	*:2011	
<input type="radio"/> WQLIB85	V8.5 (int app svr)	● 停止済み	*:12336	

At the bottom of the table, there are several control buttons: '最新表示' (Refresh), '始動' (Start), '停止' (Stop), '再始動' (Restart), '詳細の管理' (Detailed management), '削除' (Delete), and '名前変更' (Rename).

【(補足)WAS構成削除】

(補足)WAS構成削除の続き

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console. The browser address bar displays '172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'HTTP サーバー管理 172'. The main content area is titled 'すべてのサーバーの管理' and shows a table of HTTP servers. The table has columns for 'サーバー', 'バージョン', '状況', 'アドレス:ポート', '関連アプリケーション・サーバー', and '記述'. The data rows are:

サーバー	バージョン	状況	アドレス:ポート	関連アプリケーション・サーバー	記述
<input type="radio"/> ADMIN	Apache/2.4.12 (IBM i)	実行中	*:2001	なし	管理サーバー
<input type="radio"/> AJSP	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:8210	なし	
<input type="radio"/> APACHEDFI	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:80	なし	IBM 提供のサンプル HTTP サーバー (powered by Apache)
<input type="radio"/> IWADFT	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:2020	なし	
<input type="radio"/> WQLIB85	Apache/2.4.12 (IBM i)	停止済み	*:12331	WQLIB85	

Below the table, there are buttons for '最新表示', '始動', '停止', '再始動', '詳細の管理', '削除', and '名前変更'.

以上

【(補足)WASアンインストール】

●WASのアンインストール手順

※アンインストール対象のアプリケーション・サーバーおよび、HTTPサーバーが停止または、削除されていることが前提

①IBM Web Administrator for i より、「管理」-「インストール済み環境」でアンインストール対象の製品を選択する。

IBM Web Administration for i

インストール済み環境の管理

WebSphere Application Server

WebSphere Application Server V8.0 以上は、IBM Installation Manager (IM) によってインストールおよび管理されます。IBM Web Administration for i は、IM が新しい WebSphere Application Server をインストールしたり、既存のインストール済み環境を暫定修正またはフィックスパックで更新したり、システムから製品インストール済み環境をアンインストールしたり、インストール済みの暫定修正を表示したり、インストール済み環境から暫定修正を削除したりするための GUI インターフェースがあります。インストール済み環境を管理できるのは、特殊権限 *ALLOBJ および *SECADM を有する管理者のみです。

プロダクト・インストール・パス	バージョン	状況
<input checked="" type="radio"/> /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express	V8.5.5.9 Express	✓ 使用可能

インストール 更新 アンインストール フィックスの表示 最新表示

【(補足)WASアンインストール】

(補足)WASアンインストールの続き

②「アンインストール」ボタンを押下

The screenshot shows the IBM Web Administration for i interface. The browser address bar displays "172.16.0.104:2001/HTTPAdmin". The page title is "WebSphere Application Server のアンインストール". The main content area contains the following text:

「WebSphere Application Server のアンインストール」ウィザードへようこそ。このウィザードを使用して、インストール済みの WebSphere Application Server をシステムからアンインストールします。「アンインストール」をクリックすると、インストール済みの WebSphere Application Server とそれに関連するすべてのプロファイルがシステムからアンインストールされます。

プロダクト・インストール・パス: /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express
バージョン: V8.5.5.9 Express

プロファイル:

プロファイル名
このインストール済み環境に基づくプロファイルはありません

At the bottom of the main content area, there are two buttons: "アンインストール" and "キャンセル".

【(補足)WASアンインストール】

(補足)WASアンインストールの続き

③確認画面で「アンインストール」ボタンを押下 …… アンインストール中となり、しばらく掛ります

The screenshot shows the IBM Web Administration for i console. The browser address bar displays '172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'IBM Web Administration for i'. The main content area is titled 'インストール済み環境の管理' (Management of Installed Environments) and shows the 'WebSphere Application Server' section. A table lists the installed products, with one entry in the 'インストール中' (Installing) state.

WebSphere Application Server V8.0 以上は、IBM Installation Manager (IM) によってインストールおよび管理されます。IBM Web Administration for i は、IM が新しい WebSphere Application Server をインストールしたり、既存のインストール済み環境を暫定修正またはフィックス/パッチで更新したり、システムから製品インストール済み環境をアンインストールしたり、インストール済みの暫定修正を表示したり、インストール済み環境から暫定修正を削除したりするための GUI インターフェースがあります。インストール済み環境を管理できるのは、特殊権限 *ALLOBJ および *SECADM を有する管理者のみです。

プロダクト・インストール・パス	バージョン	状況
<input checked="" type="radio"/> /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85/Express	V8.5.5.9 Express	🌟 アンインストール中

インストール | 更新 | アンインストール | フィックスの表示 | 最新表示

【(補足)WASアンインストール】

(補足)WASアンインストールの続き

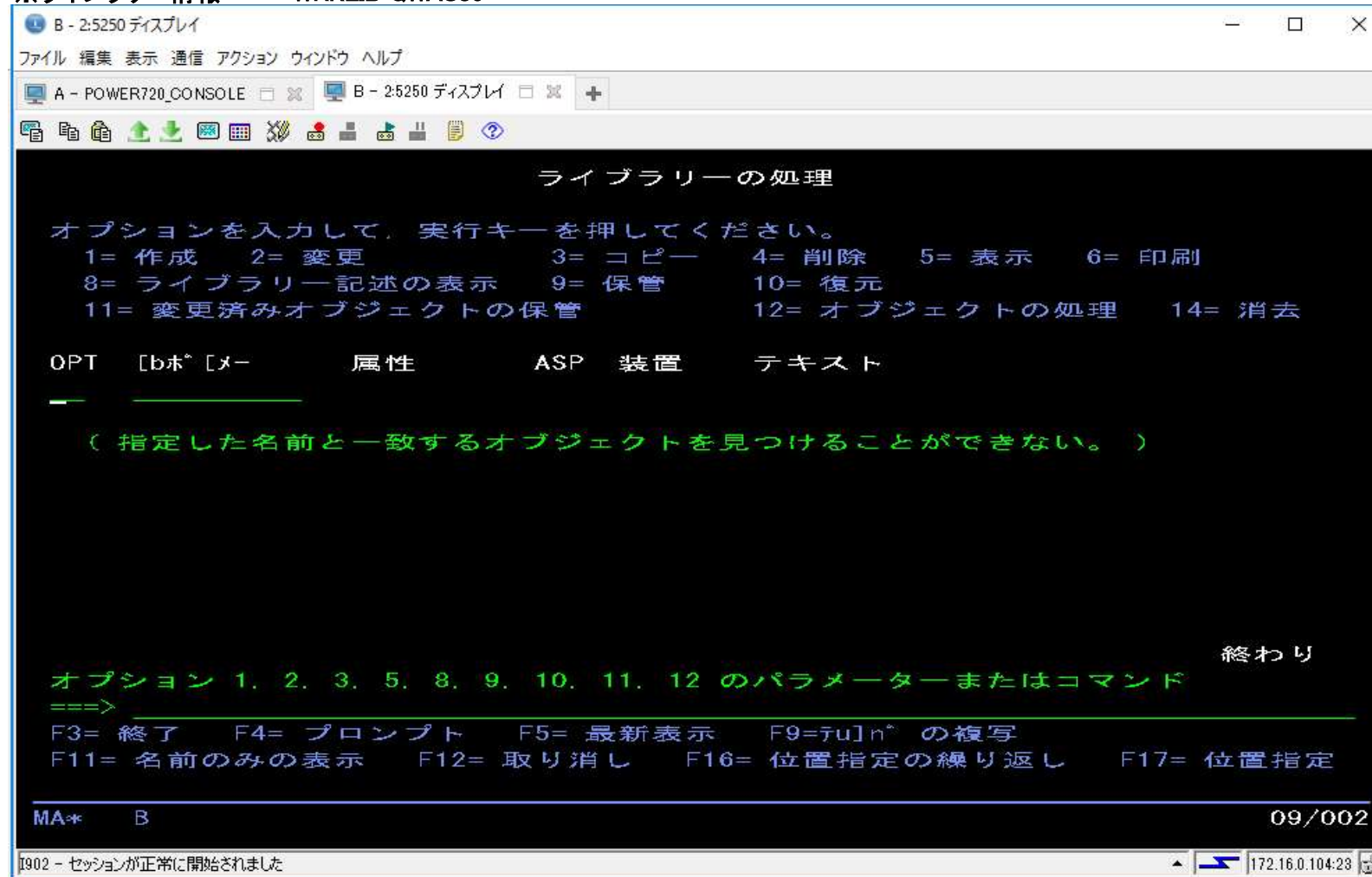
The screenshot shows the IBM Web Administration for i console interface. The browser address bar displays 'http://172.16.0.104:2001/HTTPAdmin'. The page title is 'IBM Web Administration for i' with sub-navigation for 'セットアップ' (Setup), '管理' (Management), '拡張' (Extension), and '関連したリンク' (Related Links). The main navigation bar includes 'すべてのサーバー' (All Servers), 'HTTP サーバー' (HTTP Servers), 'Application Server', and 'インストール済み環境' (Installed Environments). The left sidebar contains a tree view with categories: '共通タスクおよびウィザード' (Common Tasks and Wizards), 'インストール済み環境' (Installed Environments), and 'ツール' (Tools). Under 'インストール済み環境', 'WebSphere Application Server のインストール済み環境の管理' (Manage Installed Environments of WebSphere Application Server) is selected. The main content area is titled 'インストール済み環境の管理' (Manage Installed Environments) and features a sub-header 'WebSphere Application Server'. Below this, a text block explains that WebSphere Application Server V8.0 and above are managed by IBM Installation Manager (IM). It states that the console allows for installing, updating, or uninstalling environments, as well as applying fixes. A table with columns 'プロダクト・インストール・パス' (Product/Install Path), 'バージョン' (Version), and '状況' (Status) is present, but it is empty with the message 'このテーブルに項目がありません。' (There are no items in this table). Below the table are buttons for 'インストール' (Install), '更新' (Update), 'アンインストール' (Uninstall), 'フィックスの表示' (Show Fixes), and '最新表示' (Refresh).

【(補足)WASアンインストール】

(補足)WASアンインストールの続き

④IBMi側の確認

※ライブラリー情報 ... WRKLIB QWAS85*



【(補足)WASアンインストール】

(補足)WASアンインストールの続き

※IFS情報 … /QIBM/ProdData および、 /QIBM·UserData のそれぞれの配下の確認

```
B - 25250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
A - POWER720_CONSOLE B - 25250 ディスプレイ
オブジェクト・リンクの処理
ディレクトリー … : /QIBM/ProdData/WebSphere/AppServer/V85
オプションを入力して、実行キーを押してください。
2= 編集 3= コピー 4= 除去 5= 表示 7= 名前の変更 8= 属性の表示
11= 現行ディレクトリーの変更 …
OPT eホニウhn、M]h jホニウ 属性 テキスト
( 指定した名前と一致するオブジェクトを見つけることができない。 )
終わり
パラメーターまたはコマンド ==>
F3= 終了 F4= プロンプト F5= 最新表示 F9= コマンドの複写 F12= 取り消し
F17= 位置指定 F22= 全フィールドの表示 F23=eホニウ] 続き
MA* B 21/007
1902 - セッションが正常に開始されました | 172.16.0.104:23
```

【(補足)WASアンインストール】

(補足)WASアンインストールの続き

```
B - 25250 ディスプレイ
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ
A - POWER720_CONSOLE B - 25250 ディスプレイ
オブジェクト・リンクの処理

ディレクトリー . . . : /QIBM/UserData/WebSphere/AppServer/V85

オプションを入力して、実行キーを押してください。
 2= 編集   3= コピー   4= 除去   5= 表示   7= 名前の変更   8= 属性の表示
11= 現行ディレクトリーの変更 . . .

OPT  eホ*ニ*ウhn、M]h      jホ*      属性      テキスト
—   profiles             DIR
—   profileRegistry       DIR
—   service                DIR

                                                                終わり

パラメーターまたはコマンド
==>
F3= 終了   F4= プロンプト   F5= 最新表示   F9= コマンドの複写   F12= 取り消し
F17= 位置指定   F22= 全フィールドの表示   F23=eホ*ニ*ウ] 続き

MA*  B                                                                10/002
1902 - セッションが正常に開始されました 172.16.0.104:23
```

以上